

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

1. 新設組織の概要

- (1) 新設組織の概要…………… p. 2
- (2) 新設組織の特色…………… p. 2

2. 人材需要の社会的な動向等

- (1) 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析…………… p. 2
- (2) 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析…………… p. 4
- (3) 新設組織の主な学生募集地域…………… p. 8
- (4) 既設組織の定員充足の状況…………… p. 8

3. 学生確保の見通し

- (1) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果…………… p. 9
- (2) 競合校の状況分析…………… p. 13
- (3) 先行事例分析…………… p. 16
- (4) 学生確保に関するアンケート調査…………… p. 17
- (5) 人材需要に関するアンケート調査等…………… p. 21

4. 新設組織の定員設定の理由…………… p. 26

1. 新設組織の概要

(1) 新設組織の概要

新設組織	入学定員	編入学 定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
尚美学園大学 芸術情報学部 芸術表現学科	150	3年次 10	620	埼玉県川越市豊田町1-1-1

(2) 新設組織の特色

芸術情報学部芸術表現学科では、芸術の学びで鍛錬される直感的理解力を持ち、パフォーマンス、クリエイト、ビジネスのフィールドによる芸術の学びと情報教育により、自己マネジメント力と自己配信力を身に付け、エンタテインメント業界をはじめとするこれからの社会に必要とされる新世代の人材を養成すること、パフォーマンス、クリエイト、ビジネスの各領域を実践的かつ論理的に追求し、デジタル社会で必要とされる新世代のエンタテインメントに関する教育研究を行うことを目的とする。

なお、新設組織の設置に伴い、新設組織の基礎となる以下の既設3学科（芸術情報学部音楽表現学科、音楽応用学科、舞台表現学科（以下「旧3学科」という。））を廃止、令和8（2026）年4月に学生募集を停止する。

新設組織	入学定員	編入学 定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
尚美学園大学 芸術情報学部 音楽表現学科（廃止）	70	3年次 20	320	埼玉県川越市豊田町1-1-1
尚美学園大学 芸術情報学部 音楽応用学科（廃止）	70	3年次 10	300	
尚美学園大学 芸術情報学部 舞台表現学科（廃止）	40	3年次 10	180	

2. 人材需要の社会的な動向等

(1) 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

日本私立学校振興・共済事業団による「令和6（2024）年度 私立大学・短期大学等入学志望動向」によると芸術情報学部芸術表現学科と関連のある「芸術系」の令和5（2023）年度、令和6（2024）年度の入学志願者はそれぞれ60,391人、63,311人であり約3,000人の増加であった点、及び令和6（2024）年度の入学定員充足率は「社会科学系」、「芸術系」でいずれも100%を超えている点からも、「社会科学系」、「芸術系」の両分野を幅広く学ぶことができる芸術情報学部芸術表現学科は、高校生の需要が十分にある分野をカバーしていると考えられる。【表1】

【表 1】学部系統別の動向（大学）

系 統 区 分	年 度	集 計 学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	R5	31	4,153	102,449	94,948	9,455	4,171	24.67	9.96	44.11	100.43
	R6	31	4,243	113,753	105,149	9,751	4,261	26.81	9.27	43.70	100.42
	増減	0	90	11,304	10,201	296	90	2.14	△ 0.69	△ 0.41	△ 0.01
歯学	R5	17	1,995	7,423	6,811	3,875	1,566	3.72	56.89	40.41	78.50
	R6	17	1,995	7,982	7,286	3,795	1,525	4.00	52.09	40.18	76.44
	増減	0	0	559	475	△ 80	△ 41	0.28	△ 4.80	△ 0.23	△ 2.06
薬学	R5	60	11,276	74,627	69,834	32,753	10,674	6.62	46.90	32.59	94.66
	R6	62	11,416	71,663	67,239	31,993	10,304	6.28	47.58	32.21	90.26
	増減	2	140	△ 2,964	△ 2,595	△ 760	△ 370	△ 0.34	0.68	△ 0.38	△ 4.40
保健系	R5	272	40,720	171,920	164,994	80,009	39,414	4.22	48.49	49.26	96.79
	R6	279	41,435	153,563	147,498	78,305	37,724	3.71	53.09	48.18	91.04
	増減	7	715	△ 18,357	△ 17,496	△ 1,704	△ 1,690	△ 0.51	4.60	△ 1.08	△ 5.75
理・工学系	R5	172	60,899	745,076	709,765	293,618	62,044	12.23	41.37	21.13	101.88
	R6	171	60,725	753,291	718,490	298,211	60,355	12.40	41.51	20.24	99.39
	増減	△ 1	△ 174	8,215	8,725	4,593	△ 1,689	0.17	0.14	△ 0.89	△ 2.49
農学系	R5	25	8,850	82,069	77,130	32,361	9,144	9.27	41.96	28.26	103.32
	R6	25	8,890	86,942	82,152	31,883	9,028	9.78	38.81	28.32	101.55
	増減	0	40	4,873	5,022	△ 478	△ 116	0.51	△ 3.15	0.06	△ 1.77
人文科学系	R5	251	68,526	474,386	455,194	206,138	65,979	6.92	45.29	32.01	96.28
	R6	252	68,939	486,534	466,734	209,248	66,154	7.06	44.83	31.62	95.96
	増減	1	413	12,148	11,540	3,110	175	0.14	△ 0.46	△ 0.39	△ 0.32
社会科学系	R5	541	174,614	1,355,134	1,295,485	519,139	179,337	7.76	40.07	34.55	102.70
	R6	543	174,681	1,338,226	1,278,347	517,288	179,019	7.66	40.47	34.61	102.48
	増減	2	67	△ 16,908	△ 17,138	△ 1,851	△ 318	△ 0.10	0.40	0.06	△ 0.22
家政学	R5	81	15,113	46,651	44,251	26,088	13,452	3.09	58.95	51.56	89.01
	R6	82	15,114	41,015	38,585	24,687	12,662	2.71	63.98	51.29	83.78
	増減	1	1	△ 5,636	△ 5,666	△ 1,401	△ 790	△ 0.38	5.03	△ 0.27	△ 5.23
教育学	R5	114	19,038	90,525	86,541	43,267	17,433	4.75	50.00	40.29	91.57
	R6	115	18,838	89,036	84,860	42,165	17,244	4.73	49.69	40.90	91.54
	増減	1	△ 200	△ 1,489	△ 1,681	△ 1,102	△ 189	△ 0.02	△ 0.31	0.61	△ 0.03
体育学	R5	11	5,190	10,413	10,184	7,102	5,191	2.01	69.74	73.09	100.02
	R6	10	4,670	9,417	9,121	6,129	4,579	2.02	67.20	74.71	98.05
	増減	△ 1	△ 520	△ 996	△ 1,063	△ 973	△ 612	0.01	△ 2.54	1.62	△ 1.97
芸術系	R5	57	14,448	60,391	57,834	24,676	15,217	4.18	42.67	61.67	105.32
	R6	56	14,500	63,311	60,393	24,222	15,191	4.37	40.11	62.72	104.77
	増減	△ 1	52	2,920	2,559	△ 454	△ 26	0.19	△ 2.56	1.05	△ 0.55
その他	R5	318	77,813	491,737	470,837	215,543	76,977	6.32	45.78	35.71	98.93
	R6	327	78,428	489,738	468,680	213,003	76,684	6.24	45.45	36.00	97.78
	増減	9	615	△ 1,999	△ 2,157	△ 2,540	△ 293	△ 0.08	△ 0.33	0.29	△ 1.15
合 計	R5	1,950	502,635	3,712,801	3,543,808	1,494,024	500,599	7.39	42.16	33.51	99.59
	R6	1,970	503,874	3,704,471	3,534,534	1,490,680	494,730	7.35	42.17	33.19	98.19
	増減	20	1,239	△ 8,330	△ 9,274	△ 3,344	△ 5,869	△ 0.04	0.01	△ 0.32	△ 1.40

※日本私立学校振興・共済事業団

「令和 6 年度（2024 年度）私立大学・短期大学等入学志望動向」より

近年、文化芸術振興による地域創生の観点から、地域の文化芸術について情報技術を活用して全国的に発信することの重要性や、文化施設・文化芸術団体の経営者、企画・広報やマーケティング等に従事するアートマネジメント人材、企画制作者、舞台技術者・技能者等の専門的人材の確保の必要性がうたわれている（「文化芸術推進基本計画（第1期）－文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる－（平成30（2018）年3月6日閣議決定）」）。

本学の芸術情報学部芸術表現学科では、従来の音楽表現・音楽応用・舞台表現といった専門分野を統合し、芸術の学びで鍛錬される直感的理解力を育むとともに、パフォーマンス、クリエイト、ビジネスのフィールドにまたがる実践的なカリキュラムを提供する。特に、情報教育の充実により、自己マネジメント力・自己配信力を備えた人材を養成することで、地域の芸術・エンタテインメント産業の人材ニーズに応え、文化的価値の創造と経済的波及効果の両面において、地域社会に貢献することが可能である。

（2）中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

リクルート進学総研が文部科学省「学校基本調査」を元に行った18歳人口予想によると、芸術情報学部芸術表現学科の開設年度である令和8（2026）年から10年間ににおいて、18歳人口は全国的に減少の傾向にある。【表2】

しかしながら、令和6（2024）年5月1日現在における本学の出身都道府県別在学者数（【資料1】）において75.8%を占める南関東（埼玉、千葉、東京、神奈川）における18歳人口の減少傾向に着目すると、令和6（2024）年を100とした場合、全国平均における18歳人口の指数は91.3であることに對し、南関東は97.3であり、全国平均と比較して南関東の18歳人口減少のペースは緩やかとなっている。

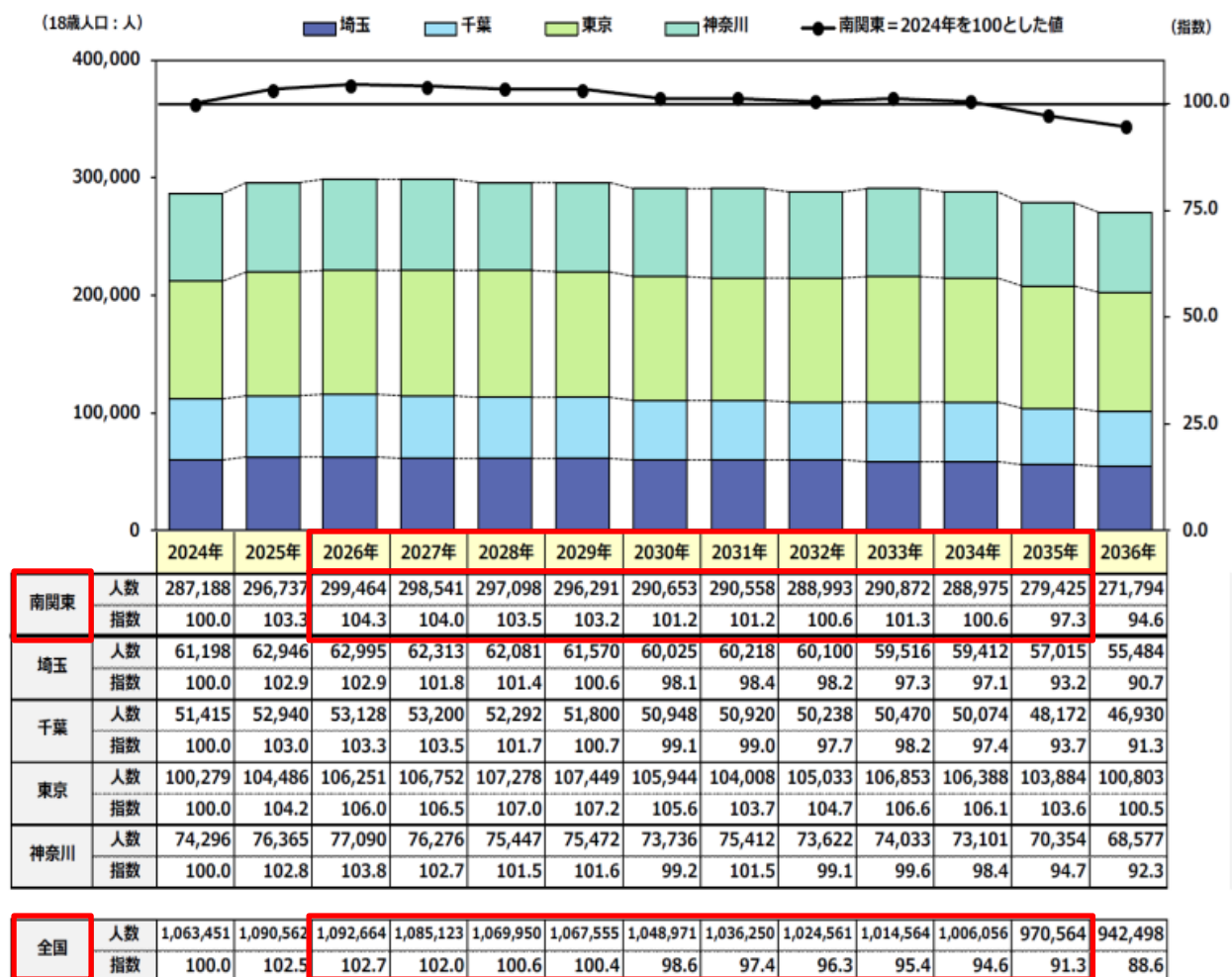
また、過去10年間ににおける南関東における大学進学率を見ると、平成27（2015）年の57.7%から令和6（2024）年は67.7%に上昇し、進学者数は平成27（2015）年の157,421人から令和6（2024）年は168,489人に増加している。【表3】

加えて、過去10年における南関東における地元残留率（自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含））を見ると、平成27（2015）年の47.8%から令和6（2024）年は49.0%に上昇している。【表4】

令和5（2023）年度から地元残留率が上昇しているのは南関東、近畿（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）、北陸（富山県、石川県、福井県）のみである。これは新型コロナウイルスが5類に移行しコロナ禍が沈静化したことなどを契機として、大学入学者が大都市圏に流出していることに起因していると考えられ、こういった推移の傾向は南関東に主たる入学希望者が存在する本学にとっては、楽観的ではないにせよ前向きな状況であるとも考えられる。

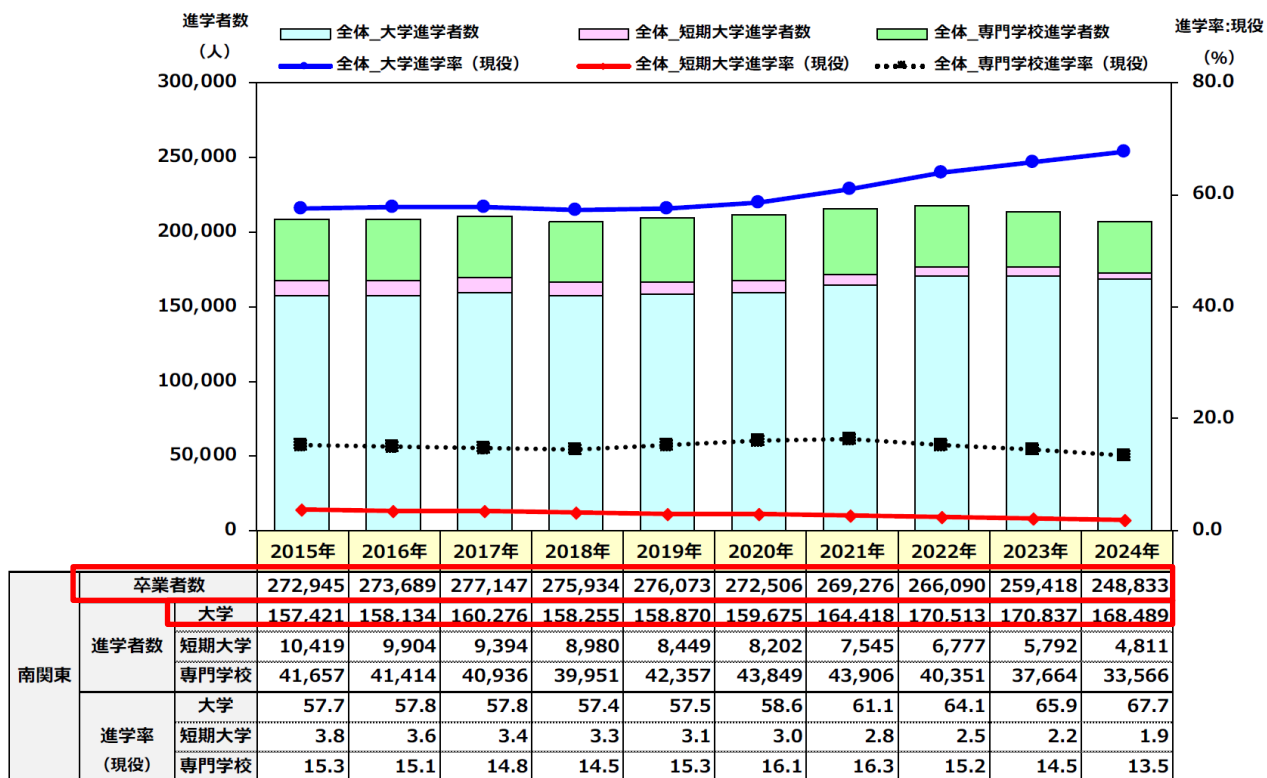
本学は令和7（2025）年度から地域連携の専門部署である地域連携センター及び総務課地域連携室を設置し、地域における存在感を増していくために積極的な取組を実施していくこととしている。全国的な進学率・進学者数・地元残留率の傾向、また地元残留率の高い地域の利を活かすために地域連携を促進していく本学の地元重視の方針等を鑑みれば、中長期的な定員の確保は可能であると考えられる。

【表 2】18 歳人口予測



※リクルート進学総研「マーケットレポート 2024」より

【表3】進学者・進学率（現役）の推移



※リクルート進学総研「マーケットレポート2024」より

【表 4】地元残留率の推移

※注 () 内は指数=2015年を100として算出



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

※リクルート進学総研「マーケットレポート 2024」より

(3) 新設組織の主な学生募集地域

芸術情報学部芸術表現学科における主な学生募集地域は本学の所在地である埼玉県に加え、近接地域である東京都及び千葉県を想定している。

本学の令和 6（2024）年度における出身都道府県別在学者数によれば、主な在学者の出身地域は、埼玉県（1,569 人、全在学者に対する割合 53.0%）、東京都（538 人、18.2%）、千葉県（89 人、3.0%）、群馬県（68 人、2.3%）、茨城県（59 人、2.0%）、栃木県（55 人、1.9%）、神奈川県（48 人、1.6%）となっており、芸術情報学部芸術情報学科における主な学生募集地域はこの実績に沿って設定されているといえるとともに、埼玉県への入学状況にも沿ったものとなっている。

【資料 1】【資料 2】

また、主な学生募集地域以外における在学者の割合は少なくなるものの、全国に広く在学者が分布しているのも、本学の特色のひとつであり、専門性の高い本学の学びが主な学生募集地域以外にも訴求していることの表れであると言える。

他大学を含めた状況を鑑みれば、令和 4（2022）年度から令和 6（2024）年度において、埼玉県の定員充足率は減少傾向にある。一方で学問分野に着目してみると、芸術情報学部芸術表現学科の属する分野である芸術系大学の定員充足率は減少傾向にあるものの、令和 6（2024）年度においては 104.77%と全国的に十分な定員を充足しており、芸術情報学部芸術表現学科はこうした芸術系大学としての好状況を地域における学生募集に活かしていくことで、より有効な学生募集が実施できるうえに、主な学生募集地域以外にも更に訴求していくことが可能であると考えられる。【資料 2】

総合的な学びの提供により芸術系分野としての強みを更に活かすことができる芸術情報学部芸術表現学科にとって、在学生の 74.2%を占める埼玉県、東京都、千葉県を主な学生募集の地域として設定することは妥当であると考えられる。

(4) 既設組織の定員充足の状況

旧 3 学科における過去 5 年間の入学定員充足率の平均は、音楽表現学科が 0.99 倍、音楽応用学科が 1.17 倍、舞台表現学科が 0.74 倍となっている。【資料 3・別紙 2-2~4】

旧 3 学科においては、過去に定員割れとなる状況もあったが、学科ごとの特色を活かして学生募集を促進するとともに、入学定員の適正化を図るため令和 6（2024）年度において芸術情報学部舞台表現学科の入学定員を 70 人から 40 人に減じるなど定員充足に向けた取組を実施した結果、令和 6（2024）年度以降は入学定員を充足している。

旧 3 学科以外における過去 5 年間の入学定員充足率の平均は、芸術情報学部情報表現学科が 1.32 倍、総合政策学部総合政策学科が 0.95 倍、スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科が 1.32 倍となっている【資料 3・別紙 2-1、5、6】。芸術情報学部情報表現学科及びスポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科においては過去 5 年間に於いて全ての年度で入学定員を充足している。

芸術情報学部情報表現学科はこれまでの実績を鑑み令和 8（2026）年度から入学定員を 220 人から 250 人に増加し、学生の規模・教育内容ともに更なる拡充を目指す。また、スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科は令和 7（2025）年度から地域社会と連携した PBL (Project Based Learning) を実施し、より社会実践性の高い教育を実現していく。

総合政策学部総合政策学科は直近の2か年において入学定員を充足できていないが、令和8(2026)年度よりこれまでの3コースを「公共・社会貢献コース」「現代ビジネスコース」の2コースに刷新することで、学生により幅広い選択肢を提示したうえで、コース特性に合わせた体験的な学びを通じて問題解決能力と実践力が修得することができるカリキュラムの構築を目指すとともに、「公務員チャレンジ入試」を導入し、当該入試を利用して入学し、在学中に公務員試験または公立学校教員試験に合格した学生に対し報奨金を支給するなど、学生の将来に寄り添い、より訴求力のある体制を整備していく。こうした学科の改革を活用したより有効な学生募集を実施することで、入学定員を充足する入学者を確保することができると考えられる。

以上により、既設組織においては、今後定員の充足は十分可能であると考えられる。

3. 学生確保の見通し

本学においては、堅実な広報戦略に基づき、受験生、保護者及び高等学校関係者等に対する情報発信の充実を図りつつ、継続的なオープンキャンパスの開催、提携校等の拡充、高等学校訪問、進学説明会の開催、並びに資料送付・請求対応等を通じて、入学者の獲得に向けた取組を計画的に推進してきたところである。これらの取組の結果として、来場者数や資料請求件数、高校訪問回数等の各種指標において、安定的な実績が確認されており、広報活動全体として一定の成果が得られていると考えられるとともに、こういった実績と入学者数には確実な相関関係を見て取ることができる。

今後においても、これまでの広報活動により得られた成果や知見を踏まえ、オープンキャンパス等の対面型イベントの充実、高等学校との継続的な関係構築、各種媒体を活用した情報発信といった従来の基本方針を堅持しつつ、各施策の内容については更なる改善・工夫を加えることにより、広報活動全体の質的向上を図っていく方針である。

これらの実績と、本学がこれまでに蓄積してきた広報活動に関する知見・経験を踏まえると、芸術情報学部芸術表現学科においても、必要とされる入学者数を確保しうる状況が見込まれるものと考えられ、以下に具体的な数値等を踏まえた分析の詳細を記載する。

(1) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

■各種取組の概況

(A) 高等学校訪問

埼玉県と東京都内の入学実績が高い学校や、訪問実績がある学校、提携校、特別指定校を中心に広報課職員が訪問し、大学の教育理念、求める学生像、育成する人物像、新しいカリキュラムの特徴等を説明している。

① 実施体制

令和6(2024)年度には、広報課職員3人が主に埼玉県内と東京都内の学校を訪問した。

② 訪問頻度・対象校

入学者の約7割を占める埼玉県と東京都の学校推薦型選抜指定校、提携校、特別指定校を中心に、1校につき年間平均3回程度の訪問を行い、令和6（2024）年度における訪問先はのべ638校で、訪問した高等学校から旧3学科へ入学した者は102人であった。

(B) オープンキャンパス【資料4】

大学の特色や雰囲気を伝えることを目的にキャンパスを開放し、オープンキャンパスを実施している。学科の特色や養成する人物像を紹介するとともに、体験講座、入試制度の説明、教員・職員との個別相談、キャンパス見学等を実施しており、参加者にとって入学後の自分をイメージしやすいプログラムを展開している。

令和6（2024）年度においてはオープンキャンパスを12回実施した。受験対象者である高校3年生の旧3学科志望の来場者は435人となった。このうち41.4%にあたる180人が旧3学科に入学した。

(C) レッスン&アドバイス【資料4】

オープンキャンパスとは別途、本学教員による個別レッスンやワークショップ、体験授業を受けることができる「レッスン&アドバイス」という取組を実施している。

このレッスン&アドバイスは、参加者が実際に演奏をしたり、体を動かしたり、あるいは機材に触ったりすることができる参加型のイベントであり、オープンキャンパスよりも更に具体的に入学後の自分をイメージできる内容であるため、より志望度の高い高校生が多く集まり、参加者における受験率・入学率ともに高い傾向にある。

令和6（2024）年度においてはこのレッスン&アドバイスを年7回実施した。受験対象者である高校3年生の旧3学科志望の来場者は148人であり、このうち64.9%にあたる96人が旧3学科に入学した。

(D) 進学説明会

埼玉県と東京都を中心に、113件の進学説明会に参加し、進学に向けた説明は広報課職員が対応し、体験授業等は教員が対応している。過去の入学実績等に基づき参加校や会場を選定し、より多くの受験生に本学の魅力を伝えるよう取り組んでいる。令和6（2024）年度の進学説明会の参加者はのべ1,563人であった。

(E) 大学案内・大学情報誌等【資料4】

毎年、大学の概要や学部・学科、学生生活、就職支援などを掲載した「入学案内」を作成しているだけでなく、入試情報やオープンキャンパスの情報は特に別冊を作成し提供している。大学ホームページでは資料請求を受け付けており、令和6（2024）年度は10,169件の資料請求があり（うち旧3学科に関心のある学生からの請求総数は4,172件）、そのうち旧3学科に関心のある受験対象者からの請求は1,821件であった。令和6（2024）年度においては、このうち11.3%にあたる205人が入学した。なお、資料請求のみを行い入学に至った者の数は把握できない（資料請求をしつつオープンキャンパス等に参加している可能性もある）。

(F) 大学ホームページ・SNS 等

大学ホームページでは、大学の特徴や魅力を伝えるとともに、受験生や保護者、高校教員向けの「受験生・高校生応援サイト」も運営し、入試や学生生活に特化した情報を提供している。また、在学生や卒業生へのインタビューを通じて、実情に即した学生生活を紹介し、受験生に学生生活の雰囲気が伝わるように工夫を行っている。

また、X（旧 Twitter）、LINE、YouTube を活用して、受験生向けの情報をタイムリーに配信している。LINE ではイベントや入試スケジュールに合わせてダイレクトに情報を届け、YouTube ではサークル紹介や保護者向けの情報を提供している。

(G) 高大連携

現在、本学は 14 校との間で高大連携に係る取組を行っており、連携を通じて、進学に必要なサポートを提供している。

① 模擬授業

大学の設備を使った模擬授業を実施し、高校生が実際の学びを体験することで進学先選びに役立てるようにしている。

② 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜では、出願基準の見直しを行うとともに、柔軟な選抜基準を採用し、受験生に対してより幅広い進学を提供している。

イ 新設組織における取組とその目標

芸術情報学部芸術表現学科は旧 3 学科を基礎とする組織であるため、これまでに旧 3 学科にて培ってきた取組を踏襲していくが、受験生の情報活用方法が多様化していることを踏まえ、従来から制作している学生募集用の冊子である「入学案内」に加え、SNS の展開や Web 広告、大学ホームページの活用に力を入れていく。

また今後は、高等学校訪問など進路指導担当教員との接触を図り、本学での説明会等を複数回実施するとともに、概要の説明にとどまるのではなく、受験生に実際の施設における学びを体験してもらうことで入学後の学生生活をより鮮明にイメージすることができるアプローチを行っていく。

(A) 高等学校訪問

① 実施体制

令和 7（2025）年度は、入試・広報課職員 3～4 人を中心に、埼玉県および東京都内の高等学校への訪問を継続実施する。訪問対象校は、過去の入学実績から①増加傾向、②横ばい、③減少傾向に分類し、戦略的に優先順位をつけて訪問計画を立案する。特に推薦における提携校および指定校を重点的に訪問し、年間のべ 650 校の訪問を予定している。訪問時には、進学後の学生の様子や学びの成果を報告しつつ、高校側のニーズについて丁寧にヒアリングし、双方向的な関係を構築する。

② 訪問頻度・対象校

埼玉県・東京都の入学者の多い高校（入学者の約 7 割を占める地域）を中心に、情報学・芸術学分野に親和性のある高校、提携校・指定校を対象に訪問を実施する。

(B) オープンキャンパス

令和 6 (2024) 年度は 3 月～12 月に年間 12 回のオープンキャンパスを実施し、他学科を含め 1,709 人が来場した。オープンキャンパスにおける旧 3 学科の取組は、体験授業等を実施し、来場者が学科の学びを体感できる内容としていたが、芸術情報学部芸術表現学科の取組は、更なるプログラムの充実を図り、令和 7 (2025) 年度は、大学全体のオープンキャンパス来場者 1,800 人以上を目標とし、芸術情報学部芸術表現学科志望の受験対象者である来場者数を令和 6 (2024) 年度実績と同程度の 435 人と設定する。令和 6 (2024) 年度の実績によれば、オープンキャンパス来場者のうち 41.4%が旧 3 学科に実際に入学しており、芸術情報学部芸術表現学科志望の受験対象者であるオープンキャンパス来場者数 435 人の目標を達成することによって、芸術情報学部芸術表現学科において入学定員を充足する入学者を確保することができると考えられる。

(C) レッスン&アドバイス

本学教員による個別レッスンやワークショップ、体験授業を受けることができるレッスン&アドバイスは、オープンキャンパスよりも更に具体的に入学後の自分をイメージできる内容であるため、より志望度の高い高校生が多く集まり、参加者の受験率・入学率ともに高い傾向にある。

令和 6 (2024) 年度においてはレッスン&アドバイスを年 7 回実施したが、令和 7 (2025) 年度も同程度実施し、その内容の充実を図る。芸術情報学部芸術表現学科を志望し受験対象者であるレッスン&アドバイスの参加者数については、令和 7 (2025) 年度の目標を令和 6 (2024) 年度実績と同程度の 150 人と設定する。令和 6 (2024) 年度の実績によれば、参加者のうち 64.9%が旧 3 学科に実際に入学しており、オープンキャンパスと合わせて、受験生参加イベントの参加者数を適切に確保することで、芸術情報学部芸術表現学科において入学定員を充足する入学者を確保することができると考えられる。

(D) 各種進学説明会への相談者数調査

令和 6 (2024) 年度は、埼玉県・東京都を中心に 113 件の進学説明会に参加した。令和 7 (2025) 年度も 110 件以上の進学説明会に参加し、芸術情報学部芸術表現学科の入学定員を充足することを目指す。

(E) 大学案内・大学情報誌等

「入学案内」、冊子や入試ガイドを毎年発行し、大学ホームページから資料請求可能としている。令和 6 (2024) 年度は 10,169 件の請求があったが、令和 7 (2025) 年度は令和 6 (2024) 年度と同程度、すなわち大学全体では 1 万件程度、芸術情報学部芸術表現学科に関心のある受験対象者からは 1,821 人の資料請求件数を目標とする。資料請求のみを行った者のうち何割が実際に受験し、また入学に至ったかは明確ではないが、間接的に入学者を確保するための方策として、簡易化した請求フォームや新しい情報提供手法を取り入れ、資料請求数の拡大を目指す。

(F) 大学ホームページ・SNS 等

大学ホームページ内に芸術情報学部芸術表現学科の特設サイトを開設し、学生インタビューや授業風景の追加、新コンテンツの定期更新を行い、SNS と連動させてタイムリーな情報提供を行っていく。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

入学者数 150 人を達成するためには、様々な広報施策を連携させた総合的なアプローチが重要である。各広報施策を通じて、ターゲットとなる受験生の層に着実にアプローチし、入学者を獲得することが求められる。令和 6（2024）年度の実績を踏まえ、各広報施策における具体的な目標入学者数とその割合は以下のとおりである。

- ・令和 6（2024）年度では、のべ 638 校の高校訪問を行い、当該の高校からの旧 3 学科への入学者は 102 人であった。これを踏まえ、令和 7（2025）年度はのべ 650 校を訪問することで、当該の高校からの芸術情報学部芸術表現学科への入学者は昨年度と同程度と見込む。

- ・オープンキャンパスにおいては、過去の実績から、オープンキャンパス来場者のうち約 4 割が実際に入学に至っている。令和 7（2025）年度の目標である、芸術情報学部芸術表現学科志望の受験対象者であるオープンキャンパス来場者数 435 人を達成することで、入学定員を充足する入学者を確保することができると見込む。

- ・レッスン&アドバイスにおいては、過去の実績から、参加者のうち約 6 割が入学に至っている。令和 7（2025）年度の目標である参加者 150 人を達成し、オープンキャンパスとあわせて受験生参加イベントを促進していくことで、入学定員を充足する入学者を確保することができると見込む。

- ・進学説明会（合同進学説明会）においては、令和 7（2025）年度は 110 件以上参加し、芸術情報学部芸術表現学科の入学定員を確保することを目指す。

- ・資料請求や大学案内のみを通じた入学者数を把握することは困難だが、資料請求数の増加を目指し、簡易化した請求フォームや新しい情報提供手法を取り入れることで、オープンキャンパスやレッスン&アドバイスへの参加につなげる。

- ・大学ホームページや SNS 等による広報活動から具体的な入学者数の目標を設定することは困難だが、来場者数の約 4 割の入学が見込めるオープンキャンパスへの参加を促せるよう、コンテンツを充実させ、受験生との接点の拡充に取り組んでいく。

以上の広報方針に則って施策を展開することで、芸術情報学部芸術表現学科において入学定員を充足する入学者を確保することができると考えられる。

（2）競合校の状況分析

ア 競合校の選定理由と新組織との比較分析、優位性

競合校の選定理由

競合校の状況分析を実施するにあたって、芸術情報学部芸術表現学科にとっての競合校の選定を行った。

競合校の選定にあたっては、河合塾が提供する大学検索システム Kei-Net を用いて条件による絞り込みを行った。まず、学校種の類似性から私立大学であること、所在地の類似性から芸術情報学部芸術表現学科の主な学生募集地域である埼玉県、東京都、千葉県のいずれかに所在すること、学問分野の類似性から Kei-Net 上のカテゴリにおいて学問分野が「美術・デザイン、音楽、その他芸術、芸術理論、情報」と区分される学部・学科等を有すること、を条件に絞り込みを行ったうえで、更に定員規模の類似性から学科の募集人員が 400 人以下であること、芸術情報学部芸術表現学科の基礎となる旧 3 学科と特に専門分野や教育内容が競合することに着目し、最終的

に東京工科大学、玉川大学、城西国際大学、日本大学、多摩美術大学、桜美林大学、武蔵野音楽大学の7大学を競合校として設定した。【資料5】

なお、この度の選定にあたっては、芸術系という分野の特色を鑑み、学力層の類似性よりも敢えて学問分野の類似性により選定を行った次第である。

各競合校と比較分析したときの本学の優位性等は以下のとおりである。

新設組織との比較分析

【教育内容】

競合校においては、そのほとんどが、学科ごとに明確な専門分野に特化した体制を整備している。一方、本学の芸術情報学部芸術表現学科においては、旧3学科における音楽表現、音楽応用、舞台表現のジャンルを統合し、学問領域をクロスオーバーした幅広い学びの提供が最大の特徴のひとつとなっている。この幅広い学びの提供は、学生に対してより幅広く将来への門戸を開いていくということであり、従来通り、高い専門性を求めて入学してくる学生は勿論のこと、多岐にわたる分野に興味を持ち、学びながら将来のキャリアを考えていきたいという学生にとっても訴求力のあるカリキュラムとなっている。

この幅広い学びとそこに学生が感じることのできる将来への可能性こそが、競合校にはない芸術情報学部芸術表現学科の優位性であり、競合校との間の競合において、入学定員を充足する入学者を確保することができると考えられる。

【就学支援】

学生納付金については、競合校と比較した場合、7大学11学科等の平均は、入学金が令和5（2023）年度において224,545円、令和6（2024）年度において220,909円となっている。また、授業料は令和5（2023）年度において1,174,000円、令和6（2024）年度において1,180,273円となっている。なお、競合校における金額の上限は入学金が270,000円（城西国際大学メディア学部メディア情報学科、多摩美術大学美術学部演劇舞踏デザイン学科）、授業料が1,490,000円（武蔵野音楽大学音楽学部演奏学科）であり、金額の下限は入学金が100,000円（桜美林大学芸術文化学群）、授業料が800,000円（城西国際大学メディア学部メディア情報学科（ニューメディアコース））となっている。【資料6】

芸術情報学部芸術表現学科の学生納付金は、旧3学科における金額を踏まえ、入学金250,000円、授業料1,250,000円、合計1,500,000円となっている。入学金と授業料については競合校の平均を若干上回るが、競合校における上限及び下限の金額を配慮しても大きく逸脱したものではなく、また、多様な学生の経済状況を配慮して、学生に対する経済的な支援にも取り組んでいる。

具体的支援としては、日本学生支援機構奨学金（高等教育の修学支援新制度を含む。）のほかに、本学独自の奨学支援として、在学生のうち学業成績優秀な者を特待生として授業料を減免する在学生特待制度、入学試験（特待生選抜）において本学の基準を満たす成績を修めた者を対象とし、授業料を減免する特待生選抜制度、本学園同窓生の子弟・兄弟姉妹が本学園の設置する学校に入学する場合に入学金全額を免除とする尚美学園同窓生子弟等入学金免除制度を設けている。

【就職支援の内容】

学生のキャリア支援を所管する部署であるキャリア・就職課が、例えば、音楽、情報、行政、スポーツ等、本学の特色に則して、志望業界別に学生個別の進路に寄り添った活動へのアドバイスを行っている。また、「尚美キャリア求人サイト」（キャリアタス UC）は企業から大学宛に配信された求人票やインターンシップ情報を大学から学生に公開するオンライン求人情報提供システムであり、従来からの学内掲示板やキャリア・就職課内にある資料の閲覧やメール配信に加え、スマートフォンや PC から 24 時間いつでも企業情報やインターンシップ情報が閲覧できる。この「尚美キャリア求人サイト」（キャリアタス UC）は、本学と結びつきの強い企業をはじめ、専門性が高く特殊な業界や新規参入企業についての求人情報の閲覧も可能となっている。

本学は芸術・スポーツ・社会科学を軸とする総合大学であり、キャリア・就職課はその幅広い学生のキャリア志向に対応して、説明会・セミナーの開催、インターンシップ等、多種多様な業界の企業との連携の実績を積み重ねている。こうした多岐にわたる業界との繋がりによって学生に多様なキャリアを示唆することができる環境は、競合校と比較した際に本学の特色となりうる点であると考えられる。

イ 競合校の入学志願動向等

令和 4（2022）年度から令和 6（2024）年度の競合校の入学志願状況は若干の減少傾向にあるものの（競合校の志願者倍率の平均 令和 4（2022）年度：4.57 倍、令和 5（2023）年度：3.79 倍、令和 6（2024）年度：3.71 倍）、一方で当該の全ての学科等において、毎年度募集人員を上回る志願者数を記録している。【資料 5】

学問分野における定員充足の状況においても「芸術系学部」は定員を十分に充足しており、芸術情報学部芸術表現学科は、学問領域として訴求力のある分野を取り扱っていると考えられる。

【資料 2】

こうした状況を鑑みれば、芸術情報学部芸術表現学科のマーケットの設定は妥当であり、競合校と差別化を図った特色のある教育内容をアピールしていくことにより、入学定員を充足する入学者を確保することができると考えられる。

ウ 学生納付金等の金額設定の理由

学生納付金の金額設定の妥当性について、「ア 競合校の選定理由と新組織との比較分析、優位性」及び「イ 競合校の入学志願動向等」における分析を踏まえ、下記のように分析を行った。

（「ア 競合校の選定理由と新組織との比較分析、優位性」を踏まえて）

本学芸術情報学部芸術表現学科における学生納付金（入学金 250,000 円、授業料 1,250,000 円、合計 1,500,000 円）は、競合校の状況及び本学科の教育内容を総合的に勘案したうえで、妥当な範囲に設定されたものである。

競合校との比較において、本学科は旧 3 学科（音楽表現・音楽応用・舞台表現）の教育資源を活かしつつ、学問分野を横断するクロスオーバー型のカリキュラムを導入している点が特徴的である。これは、学生が入学後に自身の関心や適性に応じて複数分野を横断的に学び、将来のキャリアを主体的に構築できる環境を提供するものであり、従来の専門特化型の学科編成を採る競合校には見られない優位性といえる。

また、学生納付金の水準についても、令和6（2024）年度の競合校11学科の平均値である入学金220,909円、授業料1,180,273円と比較して、本学科の設定額はやや高額ではあるものの、競合校の上限（入学金270,000円、授業料1,490,000円）および下限（入学金100,000円、授業料800,000円）の範囲内に収まっており、極端に高額であるとは言えない。なお、近年、人件費や管理費等の上昇に伴い、一部大学では授業料等の値上げを行っているが、芸術情報学部芸術表現学科の授業料等は、旧3学科の金額を据え置くこととしている。

更に、本学では日本学生支援機構奨学金制度（高等教育の修学支援新制度を含む。）に加えて、成績優秀者に対する特待生制度、入学試験成績に応じた授業料免除、同窓生子弟に対する入学金免除など、経済的負担を軽減する各種支援策を整備しており、多様な学生の受け入れに資する環境を構築している。

以上のとおり、教育内容の特色、競合校との比較、就学支援体制の充実を踏まえると、当該学科における学生納付金の設定は、教育内容と教育環境の質に見合った妥当な水準であると考えられる。

（「イ 競合校の入学志願動向等」を踏まえて）

競合校7大学11学科の入学志願状況を見ると、令和4（2022）年度から令和6（2024）年度にかけて志願者倍率はやや減少傾向にあるものの、いずれの学科においても募集人員を上回る志願者数を維持しており、定員充足状況は安定している。

また、芸術系学部全体としても、高い志願倍率および定員充足率が維持されていることから、当該分野は依然として高い教育需要を有する領域であると認められる。

こうした状況下で、芸術情報学部芸術表現学科は、複数の芸術領域を横断して学ぶことのできる独自の教育内容を有しており、芸術系分野に関心を持つ幅広い学生層に訴求可能な設計となっている。加えて、キャリア・就職課による志望業界別支援、オンライン求人情報の提供、専門性の高い業界との連携など、多様な進路に対応したキャリア支援体制が整っていることも、本学科の特色の一つである。

したがって、競合校との差別化が明確であること、芸術分野における市場の需要が継続して見込まれることから、本学科においては安定的な志願者数の確保が可能であり、設定された学生納付金の水準も当該市場における妥当な金額設定であると判断できる。

上記のとおり、「ア 競合校の選定理由と新組織との比較分析、優位性」及び「イ 競合校の入学志願動向等」における分析を踏まえ、芸術情報学部芸術表現学科の学生納付金の金額設定は、妥当であると考えられる。

（3）先行事例分析

先行事例を分析にするにあたって、直近にて芸術情報学部芸術表現学科と同様の改組を行っている事例を参照するため、競合校とは別途他大学の事例をリサーチし、学校種の類似性・定員規模の類似性・学問分野の類似性・学力層の類似性を配慮し、倉敷芸術科学大学芸術学部の事例を選定した。

倉敷芸術科学大学芸術学部はデザイン芸術学科とメディア映像学科から構成されていたが、令和6（2024）年度より、デザイン芸術学科とメディア映像学科を改組して芸術学部芸術学科とした

うえで、急速に発展しているデジタル技術分野を追加して「アートコース」「メディアデザインコース」「先端メディアコース」にコースを再編し、1 学科 3 コース体制となった。いずれのコースにおいてもデジタル技術を活用した方策を取り入れ、アートとデザイン、メディア、デジタル技術を融合した教育を実施している。また領域横断型の基礎教育とし 1、2 年次では領域にとらわれずに様々な分野の芸術や制作活動に触れたのち、3 年次にコースを選択することができる。このレイト・スペシャライゼーションの導入により、学生は自らの志向性等とコースとの間のミスマッチを避け、自分の適性や可能性を見極めた上でのコース選択が可能となっている。

このようにして、分野横断的な学び、柔軟なカリキュラム、定員規模の適正化等に取り組んだ結果、芸術学部芸術学科の令和 6（2024）年度における実績は入学定員 150 人に対し入学者数 194 人、入学定員比率は 1.29 となり、入学定員を充足する入学者を確保している。

本学の芸術情報学部芸術表現学科においても、先行事例と同様、旧 3 学科を 1 学科に統合し、分野横断的な学び、柔軟なカリキュラム、定員規模の適正化等に取り組むこととなっている。先行事例における実績を鑑みて、芸術情報学部芸術表現学科においても入学定員を充足する入学者を確保することができると考えられる。

（4） 学生確保に関する推計

ア オープンキャンパスにおける高校生アンケート結果に基づく推計（推計Ⅰ）

芸術情報学部芸術表現学科の入学者を推計するために、オープンキャンパスにおいて高校生を対象としたアンケート（高校生アンケート）を行った。

なお、オープンキャンパスの来場者を対象としたアンケートは、郵送や Web でのアンケートとは異なり対象者が少なくなるというデメリットはあるものの、回答者が実際にキャンパスに足を運んでその雰囲気を体験し、新学科についての説明等を受けた後に回答することから、比較的高い精度で推計できる点は大きなメリットと考えられる。

尚美学園大学 芸術情報学部 芸術表現学科（設置構想中）に関するアンケート（高校生アンケート）【資料 7】

（調査の概要）

- ・実施時期：令和 7（2025）年 3 月 30 日
 - ・調査対象：本学オープンキャンパス来場者
 - ・実施方法：退場時にアンケート用紙を配付し、その場で記入
 - ・回答者数：92 人
 - ・新学科に入学を見込める者：以下の a～f の条件を全て満たす者
- a. 「Q2. あなたの学年をお答えください。」において「高校 2 年生」または「高校 3 年生」と回答（アンケートの実施が年度末であるため、受験対象者として「高校 2 年生」「高校 3 年生」の両方を含む）
- b. 「Q4. 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。」において「大学」と回答
- c. 「Q5. Q4 で 1～4 を選択した方への質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください。」において「私立」と回答
- d. 「Q6. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味ある学問分野を次の中から選択してください。」において「美術・デザイン・音楽関係」と回答
- e. 「Q8. 尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科が開設された場合、受験を希望しますか。」において「第一志望で受験する」と回答
- f. 「Q9. 尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。」において「入学する」と回答

①集計の結果、上記 a～f の条件を全て満たす者、すなわち＜新学科に入学を見込める者＞は 37 人となった。

②高校生アンケートを実施した令和 7（2025）年 3 月 30 日実施の本学オープンキャンパスは、令和 7（2025）年度オープンキャンパス全日程（12 回）のうちの第 1 回目にあたる。第 1 回目のみでのアンケート結果では＜新学科に入学を見込める者＞の正確な推計はできないため、全 12 回の実施を予定しているオープンキャンパスにおいて毎回高校生アンケートを実施したと仮定した場合に、＜新学科に入学を見込める者＞の数について、昨年度の旧 3 学科における実績を基に推計する。

令和 6（2024）年度オープンキャンパスは、全 12 回（3/31、4/28、5/26、6/9、6/23、7/7、7/26、8/2、8/9、8/23、9/15、12/8）実施した。来場者のうち、同様のアンケートにおいて、受験対象者かつ「旧 3 学科が第 1 志望」と回答した者、すなわち＜旧 3 学科に入学を見込める者＞は、第 1 回目である 3 月 31 日実施分において 30 人、全 12 回の総計は 238 人であった。

このことから、第 1 回目における＜旧 3 学科に入学を見込める者＞の割合は、全 12 回の総計の 12.6%であったことがわかる。

2024年度実施 オープンキャンパスにおける＜旧3学科に入学を見込める者＞													
	第1回 3月31日	第2回 4月28日	第3回 5月26日	第4回 6月9日	第5回 6月23日	第6回 7月7日	第7回 7月26日	第8回 8月2日	第9回 8月9日	第10回 8月23日	第11回 9月15日	第12回 12月8日	全日程の合計
＜旧3学科に入学を見込める者＞	30	24	20	18	17	27	14	18	28	19	15	8	238

③そこで、令和7（2025）年度の第1回目における＜新学科の入学を見込める者＞の数（37人）を全12回の12.6%と仮定すると、＜新学科の入学を見込める者＞の全12回の総計は294人であると推計することができる。

2025年度実施 オープンキャンパスにおける＜新学科に入学を見込める者＞の推計													
	第1回 3月30日	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	全日程の合計
＜新学科に入学を見込める者＞	37					予	測						294

④令和6（2024）年度実績によれば、旧3学科の入学者は180人である。また、オープンキャンパスにおける＜旧3学科に入学を見込める者＞は238人であり、＜旧3学科に入学を見込める者＞を1とした場合に、旧3学科の入学者の比率は0.76となる。

⑤よって、上記の実績に基づけば、令和7（2025）年度のオープンキャンパスにおける＜新学科に入学を見込める者＞が294人であることから、芸術情報学部芸術表現学科の入学者は223人（ $294 \times 0.76 \div 223$ ）であると推計することができ、芸術情報学部芸術表現学科においては入学定員150人を充足する入学者を確保することができると考えられる。

（オープンキャンパスにおけるアンケート回答からの入学者推計）

令和6（2024）年度実績	人数	比率
＜旧3学科に入学を見込める者＞	238人	1
旧3学科への入学者	180人	0.76



令和7（2025）年度推計	人数	比率
＜新学科に入学を見込める者＞	294人	1
新学科への入学者	223人	0.76

イ オープンキャンパス来場者数に基づく推計（推計Ⅱ）

過去のデータから、本学入学者の多くはオープンキャンパスを経由して本学の教育環境等に触れ、受験し、入学する傾向にある。特に、この傾向は芸術情報学部において強く見られる。このため、芸術情報学部芸術表現学科のオープンキャンパス参加者数から、同学科の入学者数を推計することは一定程度の精度を持つと考えられる。そこで以下では、令和6（2024）年度の実績から、まず、令和7（2025）年度のオープンキャンパス来場者数を推計し、そこから開設を予定している令和8（2026）年度における芸術情報学部芸術表現学科の入学者数を推計する。

①令和6（2024）年度オープンキャンパスは、全日程12回（3/31、4/28、5/26、6/9、6/23、7/7、

7/26、8/2、8/9、8/23、9/15、12/8）実施した。第1回目である3月31日実施分における旧3学科を志望する受験対象者である来場者数は、98人であった。また、年間通じての旧3学科を志望する受験対象者であるオープンキャンパス来場者数は550人であった。このことから、令和6（2024）年度における年間12回のオープンキャンパス総来場者数（旧3学科を志望し、かつ、受験対象者）に占める、同年度第1回目オープンキャンパス来場者数（旧3学科を志望し、かつ、受験対象者）は、17.8%ということになる。

2024年度実施 オープンキャンパス参加者集計（旧3学科志望の受験生のみ）													
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	全日程の合計
	3月31日	4月28日	5月26日	6月9日	6月23日	7月7日	7月26日	8月2日	8月9日	8月23日	9月15日	12月8日	
参加者数	98	53	36	44	39	48	42	50	56	37	31	16	550

②次に、令和7（2025）年度の第1回目オープンキャンパス（令和7（2025）年3月30日実施）に来場した受験対象者のうち新学科を志望している者の数は70人であった。なお、この70人はオープンキャンパス申込時に志望学科のみを回答してもらったものであり、推計Ⅰのアンケートに回答した92人とは必ずしも一致しない。

③令和6（2024）年度オープンキャンパスの実績に基づき、この70人を年間12回のオープンキャンパス総来場者数の17.8%と仮定するならば、令和7（2025）年度オープンキャンパス全日程における新学科を志望する受験対象者である来場者数は393人と推計することができる。

2025年度実施 オープンキャンパス参加者（新学科志望の受験生のみ）全日程参加者数の推計													
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	全日程の合計
	3月30日												
参加者数	70												393

④オープンキャンパス来場者のうち本学の旧3学科を志望としている受験対象者の40.7%（令和5（2023）年及び令和6（2024）年度の平均値）が実際に入学していることから、令和8（2026）年度芸術情報学部芸術表現学科の入学者数は160人（ $393 \times 0.407 \div 160$ ）であると推計することができ、芸術情報学部芸術表現学科においては入学定員150人を充足する入学者を確保することができると思われる。

	R5年度入試	R6年度入試
受験対象者数(b)	365人	435人
うち受験者数(c)	151人	182人
うち入学者数(d)	146人	180人
(入学率 d/b)	40.0%	41.4%

表 音楽表現学科・音楽応用学科・舞台表現学科 オープンキャンパス来場者数、受験者数及び入学者数

（参考）

旧3学科では、専門的な知識・技能の習得や実践を重視していたのに対し、芸術情報学部芸術表現学科では、専門性は保ちつつも、様々な出口を想定し、芸術におけるクリエイティブ・ビジネス・パフォーマンスといった幅広い知識・技能の習得と、実習科目を中心に汎用的能力の修得をより重視している。このように旧3学科と芸術情報学部芸術表現学科のコンセプトは異なるが、両者には、

教育課程、教育環境及び教育研究実施組織において共通する点が多い。

まず、教育課程については、旧 3 学科の教育課程をベースにしている。例えば、パフォーマンスは音楽表現学科及び舞台表現学科で開講している科目を、ビジネス及びクリエイトの部分は音楽応用学科で開講している科目を芸術情報学部芸術表現学科において教育課程に残している。

教育環境についても、現在、旧 3 学科の授業で使用している施設を、芸術情報学部芸術表現学科においても同様に使用することを予定している。

教育研究実施組織についても、旧 3 学科の基幹教員をそのまま芸術情報学部芸術表現学科の基幹教員に移行する。

以上から、旧 3 学科と新学科は、コンセプトの違いはあれども、教育課程、教育環境及び教育研究実施組織において共通する点が多く、旧 3 学科の学生募集の実績に基づき、新学科の学生定員の充足等を推計することには十分な妥当性があると考えられる。

(5) 人材需要に関するアンケート調査

芸術情報学部芸術表現学科の卒業生の就職先として想定される企業を対象に、当該学科のニーズ（必要性）や意義に対してどのような意識であるのか、また、当該学科を卒業する者について採用する意向はあるのかを確認するために、アンケート調査を実施した。

尚美学園大学「芸術表現学科（仮称）」設置に関する企業アンケート【資料8】

（調査の概要）

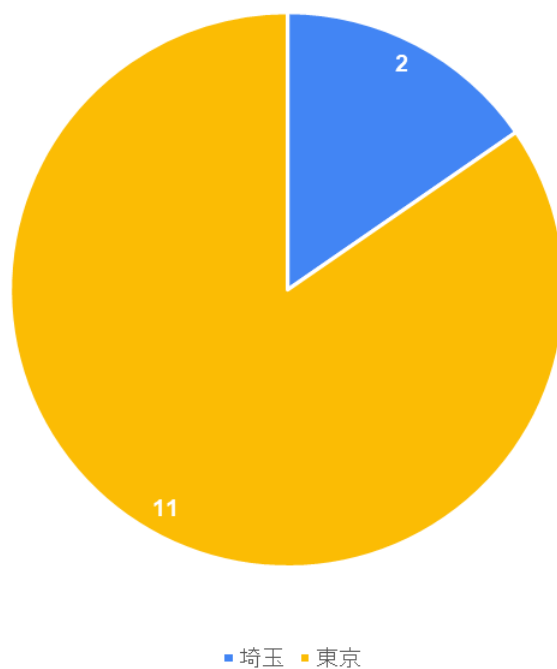
- ・ 調査名称：尚美学園大学「芸術表現学科（仮称）」設置に関する企業アンケート
- ・ 調査対象：本学の卒業生が正社員で採用された実績があり、芸術情報学部芸術表現学科の卒業生の就職先として想定される企業の人事採用担当者を対象とした。
- ・ 実施時期：令和 7（2025）年 3 月 12 日から 4 月 4 日まで
- ・ 有効回答数：13 件
- ・ 調査方法：オンライン回答フォームによる（Google form）

ア 企業の所在地、業種及び規模

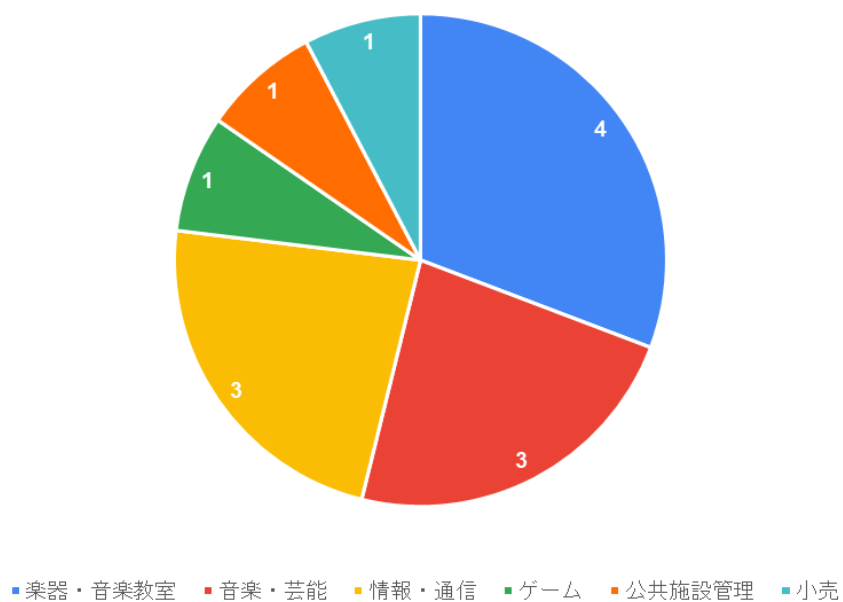
アンケートに回答のあった企業の所在地は 8 割以上が東京都に所在し、残りは埼玉県となっている。

企業の業種及び規模はそれぞれ以下グラフのとおりであり、特に業種については「楽器・音楽教室」「音楽芸能」「情報通信」「ゲーム」が 8 割以上を占めていることから、本アンケートの対象となる企業の選定は、芸術情報学部芸術表現学科にて育成する人材像の主旨に沿っていると考えられる。

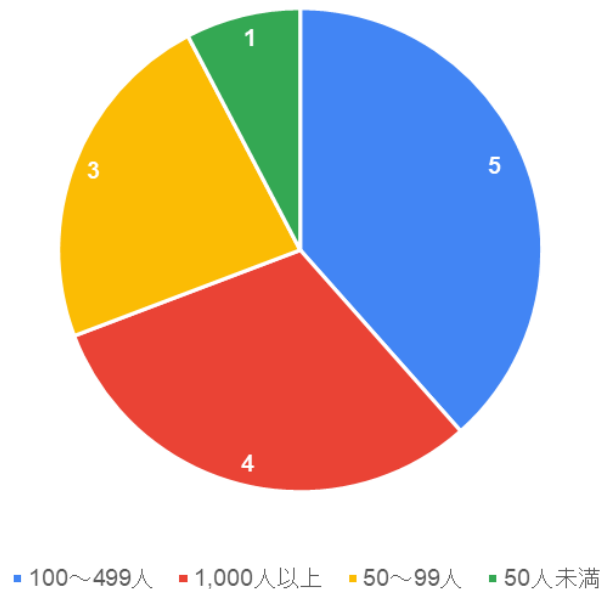
Q1. 貴社（団体）の所在地をお答えください。



Q2. 貴社（団体）の職種をお答えください。



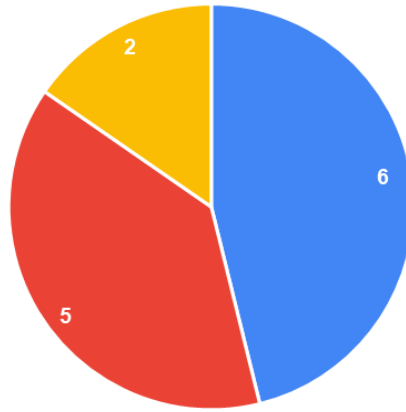
Q3. 貴社（団体）の規模（従業員数）について教えてください。



イ 芸術情報学部芸術表現学科の必要性

芸術の学びで鍛錬される直感的理解力を持ち、パフォーマンス、クリエイト、ビジネスのフィールドによる芸術の学びと情報教育により、自己マネジメント力と自己配信力を身に付け、エンタテインメント業界をはじめとするこれからの社会に必要とされる新世代の人材を育成する芸術情報学部芸術表現学科のニーズ（必要性）について確認した結果、「必要だと思う」（46.2%）、「どちらかという必要だと思う」（38.5%）となり、84.6%の企業において芸術情報学部芸術表現学科へのニーズ（必要性）が確認できた。

Q4. 尚美学園大学に「芸術表現学科（仮称）」は必要だと思いますか。最もあてはまるものを1つお答えください。

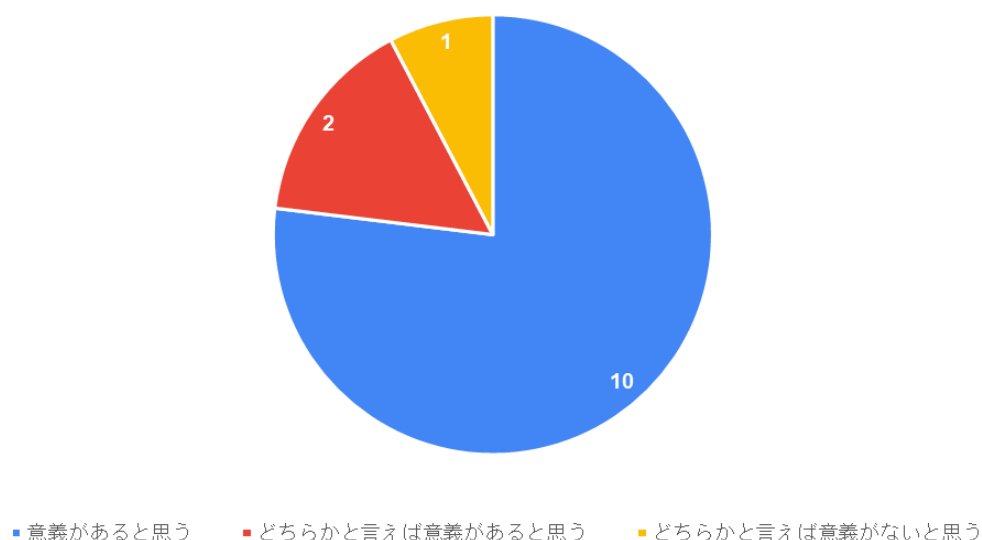


■ 必要だと思う ■ どちらかと言えば必要だと思う ■ どちらかと言えば必要だと思わない

ウ 芸術情報学部芸術表現学科の意義

芸術情報学部芸術表現学科においては、養成する人材像として「芸術の学びで鍛錬される直感的理解力を持ち、パフォーマンス、クリエイト、ビジネスのフィールドによる芸術の学びと情報教育により、自己マネジメント力と自己配信力を身に付け、エンタテインメント業界をはじめとするこれからの社会に必要とされる新世代の人材」としている。この人材像についての意義を確認した結果、「意義があると思う」(76.9%)、「どちらかと言えば意義があると思う」(15.4%) となり、92.3%の企業において、芸術情報学部芸術表現学科が養成する人材像について意義があると受け止められていることがわかった。

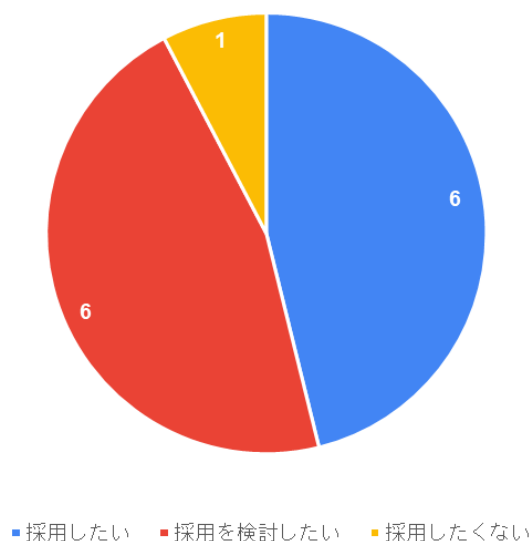
Q5. 「芸術表現学科（仮称）」では、以下の能力を身に付けた人材を輩出する予定です。この人材像に意義があると思われますか。最もあてはまるものを1つお答えください。



エ 芸術情報学部芸術表現学科の卒業生への採用意向

芸術情報学部芸術表現学科で学び卒業した学生について採用の意向を確認した結果、「採用したい」（46.2%）、「採用を検討したい」（46.2%）となり、92.3%の企業が採用に肯定的な意向を持っていることがわかった。

Q6. 「芸術表現学科（仮称）」が設置された場合、当該学科の卒業生を採用することについてどのように思われますか。



以上から、芸術情報学部芸術表現学科が育成する人材へのニーズは高く、また、当該学科における教育研究上の目的について意義があると肯定的に受け止められ、更に、多くの企業では当該学科の卒業生の採用に前向きであることが明らかとなり、社会的・地域的な人材需要が非常に高いことが読み取れる。

4. 新設組織の定員設定の理由

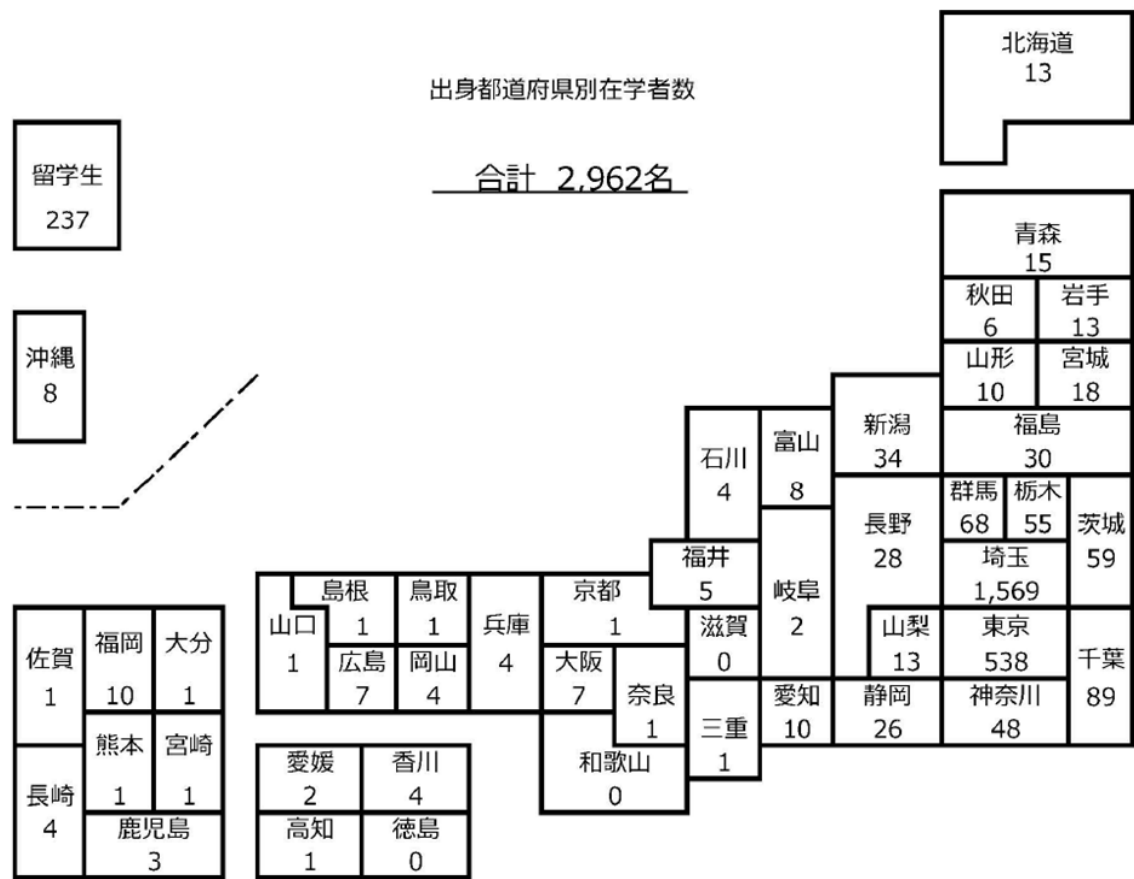
芸術情報学部芸術表現学科の定員設定については、旧 3 学科の合計である 180 人から 30 人減じ、150 人と設定している。

これは先に述べた、人材需要の社会的な動向、日本国内における 18 歳人口の減少等の社会的情勢、学生確保の見通し、競合校の状況、芸術情報学部芸術表現学科で養成する人材像に対する人材需要の見通し等を十分に考慮したうえで、教育の質保証、教育環境の整備にとっての適切な規模、及び確実に充足することのできる入学定員の規模等について、総合的に判断し設定した定員となっている。

以上により、入学定員の設定は合理的なものであると考える。

学生の確保の見通し等を記載した資料 目次

資料 1	出身都道府県別在学者数.....	p .2
資料 2	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	p .3
資料 3	既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）	p .4
資料 4	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	p .10
資料 5	同分野を有する近隣大学の志願動向調査	p .11
資料 6	同分野を有する本学並びに近隣大学の学生納付金調査（芸術情報学部）	p .12
資料 7	尚美学園大学 芸術情報学部 芸術表現学科（設置構想中）に関するアンケート（高校生アンケート）	p .14
資料 8	尚美学園大学「芸術表現学科（仮称）」設置に関する企業アンケート	p .24



出身都道府県別在学者数(上位7都県)

	都道府県	在学者数(人)	全在学者に対する割合
1	埼玉県	1,569	53.0%
2	東京都	538	18.2%
3	千葉県	89	3.0%
4	群馬県	68	2.3%
5	茨城県	59	2.0%
6	栃木県	55	1.9%
7	神奈川県	48	1.6%

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	埼玉県	9,863人	36.8%
2	東京都	4,874人	18.2%
3	千葉県	1,593人	5.9%
4	茨城県	1,386人	5.2%
5	群馬県	1,168人	4.4%
	全 体	26,803人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	埼玉県	98.90%	98.03%	93.65%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	芸術系学部（大学）	105.50%	105.32%	104.77%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

大学学部学科等名：尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	70人	70人	70人	70人	80人	72人
	延べ人数	193人	157人	136人	137人	130人	151人
	志願者数	193人	157人	134人	134人	130人	150人
	受験者数	71人	107人	112人	127人	108人	105人
	合格者数	0人	0人	2人	0人	1人	1人
	うち追加合格者数	0人	1人	2人	1人	3人	1人
	辞退者数	193人	157人	136人	137人	130人	151人
	志願者数	193人	157人	134人	134人	130人	150人
	受験者数	71人	107人	112人	127人	108人	105人
	合格者数	0人	0人	2人	0人	1人	1人
	うち追加合格者数	0人	1人	2人	1人	3人	1人
	辞退者数	71人	106人	110人	126人	105人	104人
	入学者数	60人	60人	60人	60人	80人	64人
	募集人数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
学校推薦型選抜	延べ人数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
	志願者数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
	受験者数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	辞退者数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
	志願者数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
	受験者数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
	合格者数	138人	106人	111人	87人	124人	113人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数	138人	106人	111人	86人	124人	113人
	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
	延べ人数	160人	156人	96人	61人	50人	105人
一般選抜	志願者数	150人	136人	84人	59人	43人	94人
	受験者数	36人	61人	50人	48人	20人	43人
	合格者数	11人	24人	17人	7人	7人	13人
	うち追加合格者数	18人	24人	19人	27人	11人	20人
	辞退者数	160人	156人	96人	61人	50人	105人
	志願者数	150人	136人	84人	59人	43人	94人
	受験者数	36人	61人	50人	48人	20人	43人
	合格者数	11人	24人	17人	7人	7人	13人
	うち追加合格者数	18人	24人	19人	27人	11人	20人
	辞退者数	18人	37人	31人	21人	9人	23人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
共通テスト利用入試	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	121人	53人	34人	51人	105人	73人
	志願者数	115人	46人	29人	42人	91人	65人
	受験者数	19人	9人	10人	35人	37人	22人
その他の特別選抜	合格者数	0人	0人	1人	4人	0人	1人
	うち追加合格者数	0人	3人	1人	8人	10人	4人
	辞退者数	121人	53人	34人	51人	105人	73人
	志願者数	115人	46人	29人	42人	91人	65人
	受験者数	19人	9人	10人	35人	37人	22人
	合格者数	0人	0人	1人	4人	0人	1人
	うち追加合格者数	0人	3人	1人	8人	10人	4人
	辞退者数	19人	6人	9人	27人	27人	18人
	入学者数	190人	190人	190人	190人	220人	196人
	募集人数	612人	472人	377人	336人	409人	441人
	延べ人数	596人	445人	358人	322人	388人	422人
	志願者数	264人	283人	283人	297人	289人	283人
	受験者数	11人	24人	20人	11人	8人	15人
	合格者数	18人	28人	22人	37人	24人	26人
	うち追加合格者数	612人	472人	377人	336人	409人	441人
合計	志願者数	596人	445人	358人	322人	388人	422人
	受験者数	264人	283人	283人	297人	289人	283人
	合格者数	11人	24人	20人	11人	8人	15人
	うち追加合格者数	18人	28人	22人	37人	24人	26人
	辞退者数	612人	472人	377人	336人	409人	441人
	志願者数	596人	445人	358人	322人	388人	422人
	受験者数	264人	283人	283人	297人	289人	283人
	合格者数	11人	24人	20人	11人	8人	15人
	うち追加合格者数	18人	28人	22人	37人	24人	26人
	辞退者数	246人	255人	261人	260人	265人	257人
	入学者数						
	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	190人	190人	190人	190人	220人	196人
入学定員充足率	1.29	1.34	1.37	1.37	1.20	1.32
歩留率	0.93	0.90	0.92	0.88	0.92	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	志願者数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	受験者数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	合格者数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	1人	0人	1人	3人	1人	1人
	実人数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	志願者数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	受験者数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	合格者数	35人	27人	21人	28人	35人	29人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	1人	0人	1人	3人	1人	1人
学校推薦型選抜	入学者数	34人	27人	20人	25人	34人	28人
	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	志願者数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	受験者数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	合格者数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	志願者数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	受験者数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	合格者数	28人	38人	21人	28人	28人	29人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	入学者数	27人	37人	21人	28人	28人	28人
	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	27人	21人	14人	7人	9人	16人
	志願者数	26人	18人	14人	7人	8人	15人
	受験者数	25人	18人	14人	7人	8人	14人
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	11人	5人	3人	2人	3人	5人
	辞退者数	27人	21人	14人	7人	9人	16人
	志願者数	26人	18人	14人	7人	8人	15人
	受験者数	25人	18人	14人	7人	8人	14人
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	11人	5人	3人	2人	3人	5人
	辞退者数	14人	13人	11人	5人	5人	10人
共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	8人	2人	1人	4人	7人	4人
	志願者数	8人	1人	1人	4人	7人	4人
	受験者数	8人	1人	1人	3人	7人	4人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	0人	0人	2人	1人
	辞退者数	8人	2人	1人	4人	7人	4人
	志願者数	8人	1人	1人	4人	7人	4人
	受験者数	8人	1人	1人	3人	7人	4人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	0人	0人	2人	1人
	辞退者数	7人	0人	1人	3人	5人	3人
合計	入学者数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	98人	88人	57人	67人	79人	78人
	志願者数	97人	84人	57人	67人	78人	77人
	受験者数	96人	84人	57人	66人	78人	76人
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	14人	7人	4人	5人	6人	7人
	辞退者数	98人	88人	57人	67人	79人	78人
	志願者数	97人	84人	57人	67人	78人	77人
	受験者数	96人	84人	57人	66人	78人	76人
	合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	14人	7人	4人	5人	6人	7人
	辞退者数	82人	77人	53人	61人	72人	69人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入 学 定 員 充 足 率	1.17	1.10	0.76	0.87	1.03	0.99
歩 留 率	0.85	0.92	0.93	0.92	0.92	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	44人	31人	24人	31人	43人	35人
		志願者数	31人	24人	31人	42人	34人
		受験者数	31人	24人	31人	42人	34人
		合格者数	31人	24人	31人	42人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	2人	1人
	実人数	44人	31人	24人	31人	43人	35人
		志願者数	31人	24人	31人	42人	34人
		受験者数	31人	24人	31人	42人	34人
		合格者数	31人	24人	31人	42人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	2人	1人
	入学者数	40人	31人	23人	30人	40人	33人
学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	27人	40人	34人	22人	29人	30人
		志願者数	40人	34人	22人	29人	30人
		受験者数	40人	34人	22人	29人	30人
		合格者数	40人	34人	22人	29人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	27人	40人	34人	22人	29人	30人
		志願者数	40人	34人	22人	29人	30人
		受験者数	40人	34人	22人	29人	30人
		合格者数	40人	34人	22人	29人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	27人	40人	34人	22人	29人	30人
一般選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	38人	22人	18人	15人	12人	21人
		志願者数	22人	18人	15人	12人	20人
		受験者数	20人	18人	15人	12人	18人
		合格者数	20人	18人	15人	12人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	6人	2人	6人	3人	7人
	実人数	38人	22人	18人	15人	12人	21人
		志願者数	22人	18人	15人	12人	20人
		受験者数	20人	18人	15人	12人	18人
		合格者数	20人	18人	15人	12人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	6人	2人	6人	3人	7人
	入学者数	9人	14人	16人	9人	9人	11人
共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	16人	6人	8人	5人	15人	10人
		志願者数	6人	4人	5人	12人	8人
		受験者数	6人	4人	5人	12人	8人
		合格者数	6人	4人	5人	12人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	1人	1人
	実人数	16人	6人	8人	5人	15人	10人
		志願者数	6人	4人	5人	12人	8人
		受験者数	6人	4人	5人	12人	8人
		合格者数	6人	4人	5人	12人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	1人	1人
	入学者数	12人	4人	4人	5人	11人	7人
合計	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	125人	99人	84人	73人	99人	96人
		志願者数	97人	80人	73人	95人	93人
		受験者数	97人	80人	73人	95人	90人
		合格者数	97人	80人	73人	95人	90人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	19人	8人	3人	7人	9人
	実人数	125人	99人	84人	73人	99人	96人
		志願者数	97人	80人	73人	95人	93人
		受験者数	97人	80人	73人	95人	90人
		合格者数	97人	80人	73人	95人	90人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	19人	8人	3人	7人	9人
	入学者数	88人	89人	77人	66人	89人	82人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入 学 定 員 充 足 率	1.26	1.27	1.10	0.94	1.27	1.17
歩 留 率	0.82	0.92	0.96	0.90	0.94	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	15人	27人
	延べ人数	31人	17人	20人	14人	16人	20人
	志願者数	31人	17人	20人	14人	16人	20人
	受験者数	27人	17人	20人	14人	16人	19人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	4人	0人	0人	0人	0人	1人
	辞退者数	31人	17人	20人	14人	16人	20人
	志願者数	31人	17人	20人	14人	16人	20人
	受験者数	27人	17人	20人	14人	16人	19人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	4人	0人	0人	0人	0人	1人
	辞退者数	23人	17人	20人	14人	16人	18人
学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	15人	19人
	延べ人数	35人	22人	15人	14人	23人	22人
	志願者数	35人	22人	15人	14人	23人	22人
	受験者数	35人	22人	15人	14人	23人	22人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	35人	22人	15人	14人	23人	22人
	志願者数	35人	22人	15人	14人	23人	22人
	受験者数	35人	22人	15人	14人	23人	22人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	34人	21人	15人	14人	23人	21人
一般選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	10人	18人
	延べ人数	17人	7人	8人	1人	4人	7人
	志願者数	14人	6人	8人	1人	4人	7人
	受験者数	14人	6人	8人	1人	4人	7人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	6人	1人	3人	1人	3人	3人
	辞退者数	17人	7人	8人	1人	4人	7人
	志願者数	14人	6人	8人	1人	4人	7人
	受験者数	14人	6人	8人	1人	4人	7人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	6人	1人	3人	1人	3人	3人
	辞退者数	8人	5人	5人	0人	1人	4人
共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	6人	2人	3人	1人	2人	3人
	志願者数	6人	2人	2人	1人	2人	3人
	受験者数	5人	2人	2人	1人	2人	2人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	6人	2人	3人	1人	2人	3人
	志願者数	6人	2人	2人	1人	2人	3人
	受験者数	5人	2人	2人	1人	2人	2人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	5人	2人	2人	1人	2人	2人
合計	募集人数	70人	70人	70人	70人	40人	64人
	延べ人数	89人	48人	46人	30人	45人	52人
	志願者数	86人	47人	45人	30人	45人	51人
	受験者数	81人	47人	45人	30人	45人	50人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	11人	2人	3人	1人	3人	4人
	辞退者数	89人	48人	46人	30人	45人	52人
	志願者数	86人	47人	45人	30人	45人	51人
	受験者数	81人	47人	45人	30人	45人	50人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	11人	2人	3人	1人	3人	4人
	辞退者数	70人	45人	42人	29人	42人	46人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	70人	70人	70人	70人	40人	64人
入 学 定 員 充 足 率	1.00	0.64	0.60	0.41	1.05	0.74
歩 留 率	0.86	0.96	0.93	0.97	0.93	0.93

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名： 尚美学園大学 総合政策学部 総合政策学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	35人	35人	35人	35人	35人	35人
	延べ人数	53人	39人	28人	31人	37人	38人
	志願者数	53人	39人	28人	31人	35人	37人
	受験者数	36人	39人	28人	31人	35人	34人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	0人	0人	1人	1人	1人
	辞退者数	53人	39人	28人	31人	37人	38人
	志願者数	53人	39人	28人	31人	35人	37人
	受験者数	36人	39人	28人	31人	35人	34人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	0人	0人	1人	1人	1人
	辞退者数	34人	39人	28人	30人	34人	33人
	入学者数	45人	45人	45人	45人	45人	45人
学校推薦型選抜	募集人数	47人	50人	55人	26人	20人	40人
	延べ人数	47人	50人	55人	26人	20人	40人
	志願者数	47人	50人	55人	26人	20人	40人
	受験者数	47人	50人	55人	26人	20人	40人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	辞退者数	47人	50人	55人	26人	20人	40人
	志願者数	47人	50人	55人	26人	20人	40人
	受験者数	47人	50人	55人	26人	20人	40人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	辞退者数	47人	50人	54人	26人	20人	39人
	入学者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
一般選抜	募集人数	119人	36人	33人	24人	11人	45人
	延べ人数	101人	32人	32人	23人	10人	40人
	志願者数	8人	30人	31人	20人	8人	19人
	受験者数	0人	1人	0人	2人	0人	1人
	合格者数	1人	12人	25人	10人	3人	10人
	うち追加合格者数	80人	31人	24人	18人	6人	32人
	志願者数	65人	27人	23人	17人	5人	27人
	受験者数	8人	26人	22人	17人	5人	16人
	合格者数	0人	1人	0人	2人	0人	1人
	うち追加合格者数	1人	11人	20人	9人	2人	9人
	辞退者数	7人	18人	6人	10人	5人	9人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
共通テスト利用入試	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	延べ人数	82人	37人	15人	9人	26人	34人
	志願者数	75人	33人	14人	8人	23人	31人
	受験者数	24人	16人	11人	7人	21人	16人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	2人	5人	0人	4人	3人
	辞退者数	82人	37人	15人	9人	26人	34人
	志願者数	75人	33人	14人	8人	23人	31人
	受験者数	24人	16人	11人	7人	21人	16人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	2人	5人	0人	4人	3人
	辞退者数	22人	14人	6人	7人	17人	13人
	入学者数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	募集人数	301人	162人	131人	90人	94人	156人
合計	延べ人数	276人	154人	129人	88人	88人	147人
	志願者数	115人	135人	125人	84人	84人	109人
	受験者数	0人	1人	0人	2人	0人	1人
	合格者数	5人	14人	31人	11人	8人	14人
	うち追加合格者数	262人	157人	122人	84人	89人	143人
	志願者数	240人	149人	120人	82人	83人	135人
	受験者数	115人	131人	116人	81人	81人	105人
	合格者数	0人	1人	0人	2人	0人	1人
	うち追加合格者数	5人	13人	26人	10人	7人	12人
	辞退者数	110人	121人	94人	73人	76人	95人
	入学者数						
	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	100人	100人	100人	100人	100人	100人
入 学 定 員 充 足 率	1.10	1.21	0.94	0.73	0.76	0.95
歩 留 率	0.96	0.90	0.75	0.87	0.90	0.88

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 一般選抜の延べ人数は、情報表現学科またはスポーツマネジメント学科を受験し総合政策学科を第二志望とする者を含む。
 一般選抜および合計の入学者数は、延べ人数の[合格者数－辞退者数]に記載。

大学学部学科等名：尚美学園大学 スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	116人	129人	114人	92人	102人	111人
		志願者数	128人	112人	92人	101人	110人
		受験者数	78人	79人	94人	101人	89人
		合格者数	0人	0人	2人	0人	1人
		うち追加合格者数	1人	0人	2人	2人	4人
		辞退者数	116人	129人	114人	92人	102人
	実人数	志願者数	128人	112人	92人	101人	110人
		受験者数	78人	79人	94人	101人	89人
		合格者数	0人	0人	2人	0人	1人
		うち追加合格者数	1人	0人	2人	2人	4人
		辞退者数	77人	79人	92人	90人	87人
	入学者数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
学校推薦型選抜	募集人数	180人	123人	97人	106人	87人	119人
	延べ人数	180人	123人	97人	106人	87人	119人
		志願者数	178人	123人	97人	106人	87人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	1人	1人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	180人	123人	97人	106人	87人
	実人数	志願者数	123人	97人	106人	87人	119人
		受験者数	178人	123人	97人	106人	87人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	1人	1人	0人	1人	0人
		辞退者数	177人	122人	97人	105人	87人
	入学者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
一般選抜	募集人数	110人	24人	21人	20人	15人	38人
	延べ人数	101人	20人	17人	18人	14人	34人
		志願者数	5人	10人	14人	15人	12人
		受験者数	1人	5人	0人	1人	0人
		合格者数	2人	5人	11人	8人	9人
		うち追加合格者数	79人	21人	20人	16人	10人
	実人数	志願者数	76人	17人	16人	15人	9人
		受験者数	5人	10人	13人	15人	9人
		合格者数	1人	5人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	2人	5人	10人	8人	6人
		辞退者数	3人	5人	3人	7人	3人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数	10人	5人	3人	5人	8人	6人
	延べ人数	10人	3人	3人	3人	7人	5人
		志願者数	3人	1人	3人	3人	7人
		受験者数	1人	0人	0人	0人	1人
		合格者数	1人	0人	1人	0人	1人
		うち追加合格者数	10人	5人	3人	5人	8人
	実人数	志願者数	10人	3人	3人	3人	7人
		受験者数	3人	1人	3人	3人	7人
		合格者数	1人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	1人	0人	1人	0人	1人
		辞退者数	2人	1人	2人	3人	6人
	入学者数	160人	160人	160人	160人	160人	160人
合計	募集人数	416人	281人	235人	223人	212人	273人
	延べ人数	407人	274人	229人	219人	209人	268人
		志願者数	264人	213人	208人	216人	207人
		受験者数	2人	5人	2人	1人	2人
		合格者数	5人	6人	14人	11人	14人
		うち追加合格者数	385人	278人	234人	219人	207人
	実人数	志願者数	382人	271人	228人	216人	204人
		受験者数	264人	213人	207人	216人	204人
		合格者数	2人	5人	2人	1人	2人
		うち追加合格者数	5人	6人	13人	11人	11人
		辞退者数	259人	207人	194人	205人	193人
	入学者数						

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	160人	160人	160人	160人	160人	160人
入 学 定 員 充 足 率	1.62	1.29	1.21	1.28	1.21	1.32
歩 留 率	0.98	0.97	0.93	0.95	0.93	0.95

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

一般選抜の延べ人数は、情報表現学科または総合政策学科を受験しスポーツマネジメント学科を第二志望とする者を含む。

一般選抜および合計の入学者数は、延べ人数の[合格者数－辞退者数]を記載。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

【資料4】

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：音楽表現学科・音楽応用学科・舞台表現学科 オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	705人	831人	①学部学科説明や体験講座、キャンパス見学や個別相談などのプログラムがあり、本学の学びや環境がわかるイベント。 R5:年13回開催 (3/26、4/23、5/28、6/11、6/25、7/9、7/28、8/4、8/18、8/25、9/17、10/29、12/10) R6:年12回開催 (3/31、4/28、5/26、6/9、6/23、7/7、7/26、8/2、8/9、8/23、9/15、12/8) ②前年から実施回数を減らしたが、受験率や入学率に大きな変化はなかった。新学科の募集においては、R6と同程度の回数を予定しており、前年度と同数の学生の確保が見込まれる。 ③事前の申込時や当日参加受付の際に、所属高校や学年を記載させており、そこから当該年度の受験対象者数を判断した。
うち受験対象者数(b)	365人	435人	
うち受験者数(c)	151人	182人	
うち入学者数(d)	146人	180人	
(受験率 c/b)	41.4%	41.8%	
(入学率 d/b)	40.0%	41.4%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：音楽表現学科・音楽応用学科・舞台表現学科 資料請求

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	3705人	4172人	①尚美学園大学の概要・歴史・学部学科・学生生活・就職支援などを掲載したパンフレットや入試情報、オープンキャンパス情報等のパンフレットを作成し、資料請求者に発送する。 ②新学科募集においては、印刷物を作成し、該当する学びのある高校等に配布を行う等志望度の高い高校生に資料が届くようにし、資料請求者総数や受験率・入学率の増加を目指す。 ③資料請求をする際に、所属高校や学年を記載させており、そこから当該年度の受験対象者数を判断した。
うち受験対象者数(b)	1607人	1821人	
うち受験者数(c)	200人	217人	
うち入学者数(d)	188人	205人	
(受験率 c/b)	12.4%	11.9%	
(入学率 d/b)	11.7%	11.3%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：音楽表現学科・音楽応用学科・舞台表現学科 レッスン&アドバイス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	209人	236人	①本学教員による個別レッスンやワークショップ、体験授業を受けることができる。参加者が実際に演奏をしたり、体を動かしたり、あるいは機材に触ったりすることができる参加型のイベント。 R5:年9回開催(4/29、6/18、7/31、8/21、9/9、10/7、11/3、12/2、2/4) R6:年7回開催(4/21、6/15、7/31、8/21、9/28、11/30、1/12) ②オープンキャンパスよりも深い内容であるため、参加する志望度の高い高校生が多く集まり、受験率・入学率が高い。新学科においても受験意欲の高い高校生の参加が見込まれ、受験者数が確保できるものとみられる。 ③事前予約制で所属高校や学年を記載させており、そこから当該年度の受験対象者数を判断した。
うち受験対象者数(b)	120人	148人	
うち受験者数(c)	81人	98人	
うち入学者数(d)	79人	96人	
(受験率 c/b)	67.5%	66.2%	
(入学率 d/b)	65.8%	64.9%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

同分野を有する近隣大学の志願動向調査

大学名	学部名・学科名	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
東京工科大学	メディア学部 メディア学科	募集人員	215名	215名	215名
		志願者数	2,327名	2,113名	1,915名
		志願倍率	10.82	9.83	8.91
		合格者数	542名	461名	488名
玉川大学	芸術学部 音楽学科	募集人員	60名	63名	56名
		志願者数	214名	180名	168名
		志願倍率	3.57	2.86	3.00
		合格者数	121名	98名	117名
	芸術学部 アート・デザイン学科	募集人員	83名	78名	79名
		志願者数	330名	326名	321名
		志願倍率	3.98	4.18	4.06
		合格者数	142名	177名	204名
	芸術学部 演劇・舞踊学科	募集人員	79名	73名	76名
		志願者数	368名	195名	232名
		志願倍率	4.66	2.67	3.05
		合格者数	136名	113名	164名
城西国際大学	メディア学部 メディア情報学科	募集人員	345名	345名	345名
		志願者数	1,638名	1,106名	807名
		志願倍率	4.75	3.21	2.34
		合格者数	509名	501名	479名
日本大学	芸術学部 演劇学科	募集人員	98名	98名	98名
		志願者数	459名	459名	464名
		志願倍率	4.68	4.68	4.73
		合格者数	132名	125名	130名
多摩美術大学	美術学部 演劇舞踊デザイン学科	募集人員	80名	80名	80名
		志願者数	213名	165名	202名
		志願倍率	2.66	2.06	2.53
		合格者数	123名	117名	88名
桜美林大学	芸術文化学群	募集人員	390名	390名	390名
		志願者数	1,860名	1,322名	1,418名
		志願倍率	4.77	3.39	3.64
		合格者数	1,126名	994名	1,032名
武蔵野音楽大学	音楽学部 演奏学科	募集人員	260名	260名	260名
		志願者数	313名	315名	289名
		志願倍率	1.20	1.21	1.11
		合格者数	221名	217名	200名

競合校における平均			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
募集人員	179名	178名	178名
志願者数	858名	687名	646名
志願倍率	4.57	3.79	3.71
合格者数	339名	311名	322名

※ 志願者数・合格者数は全入試区分の合計数
※ 各大学、旺文社Web情報抜粋
※ 帰国生徒・留学生・社会人・編入学除く

同分野を有する本学並びに近隣大学の学生納付金調査（芸術情報学部）

大学名	学部名・学科名		令和5年度	令和6年度
《参考》 尚美学園大学	芸術情報学部 情報表現学科	入学金	250,000円	250,000円
		授業料	1,000,000円	1,000,000円
		その他	400,000円	400,000円
		合計	1,650,000円	1,650,000円
	芸術情報学部 音楽表現学科 音楽応用学科 舞台表現学科	入学金	250,000円	250,000円
		授業料	1,250,000円	1,250,000円
		その他	400,000円	400,000円
		合計	1,900,000円	1,900,000円
東京工科大学	メディア学部 メディア学科	入学金	250,000円	250,000円
		授業料	1,326,000円	1,326,000円
		その他		
		合計	1,576,000円	1,576,000円
玉川大学	芸術学部 音楽学科	入学金	250,000円	250,000円
		授業料	1,199,000円	1,202,000円
		その他	549,400円	555,900円
		合計	1,998,400円	2,007,900円
	芸術学部 アート・デザイン学科	入学金	250,000円	250,000円
		授業料	1,199,000円	1,202,000円
		その他	549,400円	555,900円
		合計	1,998,400円	2,007,900円
	芸術学部 演劇・舞踊学科	入学金	250,000円	250,000円
		授業料	1,199,000円	1,202,000円
		その他	549,400円	555,900円
		合計	1,998,400円	2,007,900円

大学名	学部名・学科名		令和5年度	令和6年度
城西国際大学	メディア学部 メディア情報学科 (映像芸術コース)	入学金	270,000円	270,000円
		授業料	900,000円	900,000円
		その他	390,000円	390,000円
		合計	1,560,000円	1,560,000円
	メディア学部 メディア情報学科 (ニューメディアコース)	入学金	270,000円	270,000円
		授業料	800,000円	800,000円
		その他	240,000円	240,000円
		合計	1,310,000円	1,310,000円
日本大学	芸術学部 演劇学科	入学金	260,000円	260,000円
		授業料	1,110,000円	1,110,000円
		その他	470,000円	470,000円
		合計	1,840,000円	1,840,000円
多摩美術大学	美術学部 演劇舞踊デザイン学科	入学金	270,000円	230,000円
		授業料	1,187,000円	1,247,000円
		その他	438,000円	438,000円
		合計	1,895,000円	1,915,000円
桜美林大学	芸術文化学群	入学金	100,000円	100,000円
		授業料	1,114,000円	1,114,000円
		その他	350,000円	350,000円
		合計	1,564,000円	1,564,000円
武蔵野音楽大学	音楽学部 演奏学科 (器楽コース、声楽コース)	入学金	150,000円	150,000円
		授業料	1,390,000円	1,390,000円
		その他	670,000円	670,000円
		合計	2,210,000円	2,210,000円
	音楽学部 演奏学科 (ヴィルトゥオーゾコース)	入学金	150,000円	150,000円
		授業料	1,490,000円	1,490,000円
		その他	670,000円	670,000円
		合計	2,310,000円	2,310,000円

競合校における平均

	令和5年度	令和6年度
入学金	224,545円	220,909円
授業料	1,174,000円	1,180,273円

※ 学友会費、保護者会費等は除く

高校生アンケート調査概要

（１）調査概要

高校生を対象に進学受容性を調査し、尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科（仮称：構想中）の設置構想における検討資料とすることを目的とする。

（２）調査時期

令和7年3月30日

（３）調査対象

※高等学校一覧は別紙3のとおり

尚美学園大学の既存の学部学科のオープンキャンパス参加者

（４）調査方法

尚美学園大学の既存の学部学科のオープンキャンパス参加者に対し、アンケート用紙を配付し回答を依頼した。

（５）回答数

総回答者数 92人

（６）調査実施主体

尚美学園大学の既存の学部学科のオープンキャンパス参加者への調査は本学事務局総務課及び入試・広報課が実施した。

（７）調査項目

別紙1のとおり

（８）調査集計結果等

別紙2のとおり

尚美学園大学 芸術情報学部 芸術表現学科（設置構想中）に関するアンケート

尚美学園大学では、2026年（令和8年）4月に芸術情報学部音楽表現学科、音楽応用学科、舞台表現学科を改組して芸術情報学部芸術表現学科の設置を計画しております。

このアンケート調査は、尚美学園大学芸術表現学科（設置構想中）の設置に関する検討資料とするものです。

芸術表現学科の概要はリーフレットまたは本学のWEBサイト等をご覧になりながら、アンケートにご回答ください。

なお、このアンケートの回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。

お名前	
ご住所	〒

Q1) あなたの高校名をお答えください。

()

Q2) あなたの学年をお答えください。

1. 高校3年生 2. 高校2年生 3. 高校1年生

Q3) あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

1. 東京都 2. 神奈川県 3. 千葉県 4. 埼玉県 5. 茨城県 6. 栃木県 7. 群馬県
8. その他 () 道府県)

Q4) 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。（複数選択可）

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門職大学 4. 専門職短期大学 5. 専門学校 6. 就職

Q5) Q4で1~4を選択した方への質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

（※Q4で1~4を選択しなかった方はQ3に進んでください。）

1. 私立 2. 国立 3. 公立

Q6) 高校を卒業後、学びたいと考えている興味ある学問分野を次の中から選択してください。（複数選択可）

1. 美術・デザイン・音楽関係 2. 社会学・法学・政治学・経済学関係
3. 文学・歴史学・哲学・心理学関係 4. 物理学・数学・化学・生物学関係
5. 機械・電気通信・建築学・情報学関係 6. 農林水産学・獣医学関係
7. 医学・歯学・薬学・看護学・保健衛生関係 8. 教育学・体育学関係
9. 生活科学・家政学・被服学・住居学・食物学・児童学関係

Q7) 尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科の特色について関心が持てるものをすべて回答してください。（複数回答可）

1. 専門性を追求しながら、学びの領域をクロスオーバーした幅広い学習が可能。
2. パフォーマンスアーツだけでなくビジネスに直結したデジタルのスキルも身につく。
3. 幅広い学びの領域とカリキュラムがある。
4. 入学してからゆっくりと、自分の好きなこと、将来のなりたい職業、得意なことを見つけることができる。
5. 幅広い領域の学習をすることで、様々な仕事でも強みとなり将来の可能性を広げることができる。

Q8) 尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科が開設された場合、受験を希望しますか。一つ選択してください。

1. 第一志望で受験する 2. 第二志望で受験する 3. 第三希望以降で受験する 4. 受験しない

Q9) Q8で1、2、3のいずれかで「受験する」を選択した方にお聞きます。

尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。一つ選択してください。

1. 入学する 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3. 入学しない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

■現在の学年（Q2）

Q2. あなたの学年をお答えください。	
高校1年生	8
高校2年生	83
高校3年生	1
総計	92

■所在する都道府県（Q3）

Q3. あなたのお住まいの都道府県をお答えください。	
茨城県	2
岡山県	1
宮城県	1
群馬県	4
香川県	2
佐賀県	1
埼玉県	44
山梨県	1
秋田県	1
新潟県	2
神奈川県	2
青森県	1
静岡県	1
千葉県	4
長野県	3
東京都	16
栃木県	1
福岡県	1
福島県	2
北海道	2
総計	92

■卒業後の希望進路（Q4）

Q4. 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。（複数選択可）	
大学	90
短期大学	9
専門職大学	1
専門職短期大学	0
専門学校	20
就職	2

■進学を希望する場合の大学等の設置者（Q5）

Q5. Q4で大学・短期大学・専門職大学・専門職短期大学を含む回答をした方は、志望する大学等の設置者の希望を選択してください（複数選択可）。	
私立	85
国立	14
公立	22

■興味のある学問分野（Q6）

Q6. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味ある学問分野を次の中から選択してください。（複数選択可）	
美術・デザイン・音楽関係	83
社会学・法学・政治学・経済学関係	10
文学・歴史学・哲学・心理学関係	12
物理学・数学・化学・生物学関係	2
機械・電気通信・建築学・情報学関係	2
農林水産学・獣医学関係	0
医学・歯学・薬学・看護学・保健衛生関係	3
教育学・体育学関係	11
生活科学・家政学・被服学・住居学・食物学・児童学関係	3

■尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科の特色について関心が持てるもの（Q7）

Q7. 尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科の特色について関心が持てるものをすべて回答してください。（複数選択可）	
専門性を追求しながら、学びの領域をクロスオーバーした幅広い学習が可能。	53
パフォーミングアーツだけでなくビジネスに直結したデジタルのスキルも身につく。	31
幅広い学びの領域とカリキュラムがある。	51
入学してからゆっくりと、自分の好きなこと、将来のなりたい職業、得意なことを見つけることができる。	55
幅広い領域の学習をすることで、様々な仕事でも強みとなり将来の可能性を広げることができる。	47

■受験意向（Q8）

Q8. 尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科が開設された場合、受験を希望しますか。一つ選択してください。	
第一志望で受験する	47
第二志望で受験する	25
第三希望以降で受験する	7
受験しない	13
総計	92

■入学意向（Q9）

Q9. 尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。一つ選択してください。	
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	27
入学しない	1
入学する	51
受験しない	13
総計	92

尚美学園大学芸術情報学部芸術表現学科(設置構想中)に関する
高校生アンケートの回答者が所属する高等学校一覧(R7.3.30.本学 OC での実施)

ID学園高等学校
N高等学校
いわき総合高等学校
クラーク記念国際高等学校
わせがく高等学校
わせがく夢育高等学校
浦和学院高等学校
浦和実業学園高等学校
浦和第一女子高等学校
叡明高等学校
横浜創学館高等学校
横浜南陵高等学校
岡山学芸館高等学校
桶川高等学校
錦城学園高等学校
熊谷農業高等学校
群馬県立高崎女子高等学校
県立柏中央高等学校
広島三育学院高等学校
香川県立三木高等学校
国立音楽大学付属高等学校
細田学園高等学校
坂戸高等学校
埼玉栄高等学校
埼玉県立芸術総合高等学校
埼玉県立川口高等学校
埼玉県立大宮広陵高等学校
埼玉平成高等学校
市立太田高等学校
自由の森学園高等学校
鹿島学園高等学校通信制
秋草学園高等学校
秋田南高等学校
春日部共栄高等学校
所沢高等学校
小平西高等学校
松山女子高等学校
上尾橘高等学校
常盤高等学校
常盤木学園高等学校
新潟第一高等学校
新潟明訓高等学校
新座高等学校
水戸啓明高等学校
青森工業高等学校
静岡北高等学校
千葉県立沼南高柳高等学校
千葉県立柏中央高等学校
川越西高等学校
川越総合高等学校
川口青陵高等学校
第一学院高等学校
第一学院高等学校
中央国際高等学校さいたま校
中村高等学校
長野南高等学校
東海大学菅生高等学校
東海大学付属甲府高等学校
東京学館新潟高等学校
東京都立小台橋高等学校
東京都立淵江高等学校
東野高等学校
栃木県立栃木翔南高等学校
日本航空高等学校
白岡高等学校
函館市立函館高等学校
福島県立都山高等学校
福翔高等学校
堀越高等学校
明星高等学校
流通経済大学付属柏高等学校
和光高等学校

生まれ変わる芸術表現学科の詳しい情報を知りたい方へ

OPEN CAMPUS 2025

3.30 sun 4.20 sun 5.25 sun
6.8 sun 6.22 sun 7.6 sun
7.23 wed 8.1 fri 8.8 fri
8.22 fri 9.14 sun 12.7 sun

事前申込制 | 詳細および申込方法は
大学ホームページをご覧ください | <https://www.shobi-u.ac.jp/>

尚美学園大学
SHOBI UNIVERSITY

お問い合わせ 入試・広報課
〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1
☎ 0120-80-0082

www.shobi-u.ac.jp/



UNLOCK Learning

資料7
別紙4

尚美学園大学
SHOBI UNIVERSITY

芸術情報学部 芸術表現学科

Department of
Artistic Expression



「音楽」を学ぶ。
「舞台」を学ぶ。
そして、「実社会」も学べる。

Performance

Create

Business

音楽表現学科、
音楽応用学科、舞台表現学科は、
2026年4月に
「芸術表現学科」
として生まれ変わります。

(詳細内容は下記で変更がなされます。)

DEPARTMENT OF ARTISTIC EXPRESSION

芸術のための芸術教育から
社会のあらゆる分野に貢献できる芸術教育へ

Start!

新たに生まれ変わる芸術表現学科は、社会の広範な領域で活躍できる人材の育成と芸術のプロフェッショナルの育成を目指します。芸術の学びで鍛えられる直感的理解力を持ち、「パフォーマンス」「クリエイティブ」「ビジネス」のフィールドによる芸術の学びと情報教育により、自己マネジメント力と自己配能力を身につけ、エンタテインメント業界を始めとするこれからの社会に必要とされる新世代の人材を養成します。

UNLOCK Learning [アンロックラーニング]

芸術表現学科の学びのコンセプトは「UNLOCK Learning / アンロックラーニング」。演奏や舞台表現に代表される「パフォーマンス」、作曲や演出に代表される「クリエイティブ」、そして企画や経営に関する「ビジネス」の、3つの学習領域の科目やゼミナールを各学年で自由に選択し組み合わせることで、芸術表現の世界で活躍するために必要な学修を、一人ひとりの希望や適性によって、基礎から応用にいたるまでバランスよく進めることができます。培われたスキルはあらゆる仕事へ進路の可能性を広げ、未来を拓く鍵を開け放ちます。

パフォーマンス

Performance

クラシック
ポップス
ヴォーカル(ポップス、ミュージカル)
演劇
声優・アニソン
ダンス

クリエイティブ

Create

音楽メディア
作・編曲
ソング・ライティング
脚本

ビジネス

Business

音楽ビジネス エンタテインメントビジネス
マネジメント マーケティング

パフォーマンスはもちろん、幅広い領域から様々なものが学べ、
ビジネスのスキルも得られる。時代が求めた「新しい学び」です。

POINT [芸術表現学科の特長]



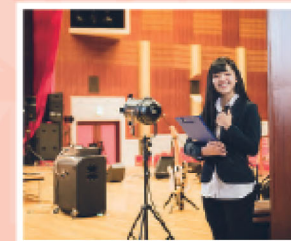
いろいろ学べる

芸術表現学科では、専門性を追求しながら、学びの領域をクロスオーバーした幅広い学習が可能です。パフォーマンスだけでなく、ビジネスに直結したデジタルのスキルも身につきます。



自分のペースで決められる

芸術表現学科には、幅広い学びの領域とカリキュラムがあります。入学してからゆっくりと、自分の好きなこと、将来のやりたい職業、得意なことを見つけることができます。



将来の可能性が広がる

芸術表現学科での学びは、様々な仕事でも強みとなり、将来の可能性を広げます。音楽や舞台を学ぶことで得られるコミュニケーション能力などもその一つです。

CAREER [芸術表現学科で目指せる仕事]

▶音楽アーティスト ▶演奏家 ▶指揮者 ▶音楽隊員 ▶ミュージカル俳優 ▶歌手 ▶俳優 ▶声優 ▶アイドル ▶ダンサー
▶パフォーマー ▶テーマパークエンターティナー ▶作詞家・作曲家・編曲家 ▶音楽プロデューサー ▶音楽ディレクター
▶サウンドクリエイター ▶マルチメディアクリエイター ▶サウンドエンジニア ▶マネージャー ▶DJ・トラックメイカー
▶コンサートプロモーター ▶イベントプロデューサー ▶演出家 ▶振付師 ▶脚本家 ▶舞台監督 ▶舞台プロデューサー
▶舞台技術スタッフ ▶アーティストマネージャー ▶企業の企画部門・広報部門 ▶教員 ▶大学院進学 など



KEYWORD [学びのキーワード]

あなたは「なりたい自分」がありますか。次のキーワードから気になるものはありますか。興味関心のある言葉が見つかった方には、芸術表現学科での学びをおススメします。あなたの夢の実現をサポートする、学びと環境がここにあります。

#音楽配信 #DJ #芝居 #バンド #ポップス #劇団 #音楽メディア #企画制作 #フェス #レコードレーベル
#レコーディングスタジオ #アニソン #カラオケ #ミュージシャン #プロ用機材 #エンタメ業界 #DTM #ゲーム音楽
#宅録 #アイドル #レコード #ミュージカル #YouTube #教員・講師 #クリエイター #ダンサー #TikTok
#レコーディングスタジオ #動画配信者 #ライブハウス #音楽で就職 #シンガー・ソングライター #クラシック #ボーカリスト

▶「就職に強い自分」になれる。プロを目指せる環境も整っている。

TEACHERS

【調師紹介】

業界での実績も豊富なプロフェッショナルの講師陣から学びを得ることができます。



Makoto
Takeuchi

学科長
教授

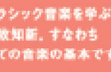
竹内 誠

【経歴概要】

「ハニエコム」「和声対位法」「芸術管理」
「基礎演習」「ゼミナール」「卒業研究」

【プロフィール】

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。日本音楽協
会と日本音楽学会の会員。音楽制作に加えて音楽
と音楽教育の研究も専門として、音楽理論の科学
的検証と実践を行う。2020年東京芸術大学芸術
情報学部芸術情報科学科准教授に就任予定。



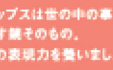
Fumio Goto

クラシック音楽を学ぶことは
温故知新。すなわち
全ての音楽の基本です。

教授 **後藤 文夫**

【振替科目】
「吹奏楽」「管弦楽」「器楽演習」
「基礎演習」「教職全修」

【プロフィール】
3歳・フォニアム専修、吹奏楽部専修。これまでリサイタル8回、ユーフォニアム・デュオ「四重奏団」「獅子座」の主宰として国内外の公演を実施。独得なユーフォニアムの奏法として「吹奏楽」の24のホルニス®を模倣。日本音楽院音楽部、日本管打・吹奏楽学会、日本ユーフォニアム・ソサエティ「役員、会員。



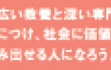
Daishi Katakawa

片岡 大志

教授

【橋南学院】
「ソング・ライティング」「アヤンチンブル」
「レコーディング実習」「基礎実習」
「芸術表現専修」

【プロフィール】
1993年、DMGビクターからシンガー・ソングライターとしてデビュー。以降、東京FM/フジテレビ/BS2/BS1/ワーナー・ミュージック/オリジナルCDをリリース。音楽制作・演出・音楽プロデュース作品多数。2019年に音楽・映像・音楽パフォーマンス・舞台制作等、多岐にわたるミュージック・メディアに参画。



Hitoshi Kobayashi

幅広い教養と深い専門性を身につけ、社会に価値を生み出せる人になろう。

敬愛

小林 仁

【担当科目】
「ミュージカル・声楽史」「音楽消費」「芸術表現」「メディア・デジタル」「音楽研究」

【プロフィール】
東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。放送大学大学院修士課程修了。活動拠点を越後富山県・金沢市に移住し音楽に専念して活動。その後、プロフィール・アーティスト、東京ミュージカル・ダンス・フェスティバルで数編劇者を担当。



Hironobu
Okamura

最高の教科書は、劇場です。
AI時代にこそ書きたい
新しい演劇！

教授 **岡村 宏愷**

【担当科目】
「芸術概論」「古典芸術基礎演習(和書)」「
「基礎演習」「ゼミナール」「卒業研究」

【プロフィール】
舞台俳優、演出家、大塚演劇賞、竹人厚生文芸大形
賞、現代演劇と古典演劇の両演劇界のプロとして
活動すると共に、声優アクト＝舞台を3年開演する。
2022年に竹人厚生文芸大の「研究で科学研究奨励金
の認可」を受ける。和文に教育学会奨励金、一般社団
法人演劇研究会賞受賞。

ヒントをアイデアに、アイデアを形にして、エンタメ業界を活性化させましょう。



Masumi Muraki

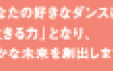
敬称 **村木 益実**

【振替科目】

- 「音楽プロデュース研究」「音楽プロモーション研究」
- 「メディア論」「エンタテインメント会衆研究」
- 「ポップカルチャー研究」「音楽企画論」
- 「ポピュラー音楽史」「観客演習」「卒業研究」

【プロフィール】

1988年、FM NACK5聴衆メンバーとして入社。音楽イベント制作を中心に音楽・エンタテインメント業界で活動。所属ラジオ局「エンタメラジオ」を立ち上げ、2020年より番組「J・ダンス・ミュージック」を放送中。2021年、「人生で演説したい100のときと場」(NHK)に出演。出演中。



Fumihito Shimizu

准教授 清水 典人

【担当科目】
「舞踊史と舞踊」「舞合芸術教育論」「芸術概論」
「パフォーマンス・音楽」「芸術概論専修」
「芸術演習」「ゼミナール」「卒業研究」

【プロフィール】
舞踊家、モダンダンス、コンテンポラリーダンス。ダンス・鑑賞・舞台制作と共に、子供参加型ワークショップ・国際交流事業を東京とアメリカにおいて開発。全米舞踊教師連盟を東京とアメリカにおいて開発。全米舞踊教師連盟の現代舞踊1部、文芸春秋大賞賞、東京新聞知事賞、平成20年度児童芸術家賞海外部門賞1年奨励賞修得。一般社団法人Winning Project 代表理事。

好きなことを更に好きになるために、学んだ知識と技術を応用をひらきます。

准教授 漢那 拓也

【担当科目】
「音響リテラシー」・「芸術演習」
「芸術表現専修」・「基礎演習」
「ゼミナール」・「卒業研究」

【プロフィール】
サウンドデザイン専攻、サウンドエンジニア。専門領域は立音合成、電子音楽、タイポグラフィロニクス、デジタルPAなどで43.4年間および22.2年 立音専攻専攻員（ディレクター）・音楽芸術（ディレクター）・サウンドデザイン専攻専攻員（ディレクター）・サウンドデザイン専攻専攻員（ディレクター）の4つの専攻専攻員を務める。

芸術表現学科には、ほかにも経験豊富な多くの講師陣が皆さんをお待ちしています。

CURRICULUM

【科目ピックアップ】

3つの学びのフィールドに対応した多彩なカリキュラムの中から、いくつかの科目をご紹介します。



音響リテラシー

学びのフィールド

- パフォーマンス
- クリエイト
- ビジネス

音楽制作における音響分野にまついでの基礎知識やスキルについて学びたい、現場を学ぶの
ために、実習形式での授業や各業界の工務
や企画営業などのスキルを学んだ授業です。音楽
制作への進路に至るまでの一歩した後の実
践し、それに必要な情報を自らで収集できる
ようになることを目指します。

映像リテラシー

パフォーマンス

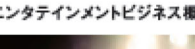
クリエイト

ビジネス

学びのフィールド

YouTubeメディアにおいて多量な視聴とつながった映像コンテンツの基礎的な知識を学びます。テレビ番組などのマスメディアから、現代社会において影響力を持つ、SNSやWeb3.0まで、映像にまつる文化史を学習した上で、映像制作における発案書や絵コンテを自身で制作する実験を行います。

エンタテインメントビジネス概論



エンタ
テイメント
ビジネス

パフォーマンス

クリエイティブ

ビジネス

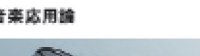
エンタテインメントビジネスを学ぶ意義、芸術界の現状やビジネスモデルの理解等そのことを目標とします。エンタテインメントはどのような産業であり、どのような産業を行い、どのような業種が関わっているのか、そして、それらのビジネスモデルはどのようなものがあるかを学びます。



エンタテインメント企画概論

学生が活躍できる場、学生が活躍したい人においては「楽しさ」を第一に考えることが重要です。そのためには、企画の目的や目標を明確にし、それを達成するための具体的な計画を立てることが必要です。

音楽応用論



ENTERTAINMENT LAW

争ひのフィールド

パフォーマー・ダンス
クリエイティブ
ビジネス

エンタテインメント業界に留まらず、音楽関係、医療、産業など、幅広い分野における音楽の活用開拓や、それらを利用する上での著作権侵害にせよ他者の権利を侵害しにせよ等々。そして、現代社会における音楽の不可欠性を鑑みても、法律がテラシーの高い人材の養成が望まれます。

アニメプロデュース論



キャラクター	パフォーマンス
	タリエンティ
	ビジネス

現代のコンテンツビジネスにおいて、クリエイターは単にコンテンツを制作するだけでなく、そのコンテンツの価値を最大化するための戦略を考案する必要があります。本講座では、アニメ制作の現場における最新のビジネス動向を詳しく解説します。また、実際に現場で活躍しているプロデューサーから、アニメ制作に関する貴重な情報を得ることができます。コンテンツビジネスにおける人材育成を重視します。

芸術表現



華道のワールド

パフォーマンス

クリエイティブ

ビジネス

パフォーマンス(音楽・ダンス・演劇・演劇による舞台)、クリエイティブ(演劇制作とサウンド制作)など、実習を通して習得する学びです。芸術を学ぶことにより自己表現への力を高め、社会人に必要な協働性を身に付け、広い視野を持つ後輩育成に共有できる人となりを展開します。

マーケティング論

学びのフィールド

- パフォーマンス
- クリエイティブ
- ビジネス

「売れる仕組み」であるマーケティングの理論を体系的に理解し、その実践や消費の購買行動の仕組みについて学びます。そして、企業活動におけるマーケティングの役割について理解するために、マーケティングの基本的な知識、消費者の購買行動に関する知識の修得を目的とします。

経営戦略概論

経営戦略の実践

- 1 パフォーマンス
- 2 クリエイト
- 3 ビジネス
- 4 システム

全盛期における戦略とその重要性について学びます。経営戦略について論議的に理解するために、基本の知識と理論を、付帯テーマの知識、特定の事例などを通して学びます。経営戦略の立案や評価においても、理論の中核となるツールを活用できるようにすることを目標とします。



アニソン

パフォーマンス
クリエイティブ
ビジネス

アニメーションの発達とともに総合的な発展を遂げた声楽分野において重要な位置を占める『アニソン』の奥に潜望鏡、グラフィック表示方式で実用します。数々の音楽を『アニメーション』として、聴衆の心を捉え、感情に訴え、『アニメーション』としての音楽表現をリアルに研究を深めます。

令和7年3月

ご担当者様

尚美学園大学学長
永山 賀久

尚美学園大学 新学科「芸術表現学科（仮称）」に関するアンケートへのご協力につきまして

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

尚美学園大学では令和8年4月に、芸術情報学部の音楽表現学科・音楽応用学科・舞台表現学科を統合し、パフォーマンス、クリエイト、ビジネスの各領域を実践的かつ論理的に追求して、デジタル社会で必要とされる新世代のエンタテインメントに関する教育研究を行うことを目的とした新学科「芸術表現学科（仮称）」を設置することを構想しております。

この度は当該学科の設置に向けて、社会的・地域的なニーズや人材需要等について把握するために、貴社（団体）にアンケート調査をご依頼申し上げる次第です。

お忙しいところ大変恐縮ですが、下記にアンケートフォームをご用意いたしましたので、ご回答いただけますと幸いです。

ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

敬具

<アンケートフォーム>

大変お手数ですが、以下のQRコードまたはURLよりアンケートにご回答ください。



<https://forms.gle/KxfmoA9w8CaweBkUA>

※大変お手数ですが、令和7年4月4日（金）までにご回答いただけますと幸いです。短い期限でのお願いにて誠に恐縮ですが、何卒よろしくお願いいたします。

(ご参考)「芸術表現学科(仮称)」特設サイトにつきまして

新学科「芸術表現学科(仮称)」に係る特設サイトを開設しております。新学科のコンセプトや具体的な教育内容等についてご案内しておりますので、ご参考になりましたら幸いです。



<https://www.shobi-u.ac.jp/special/artistic/&mkv>

尚美学園大学「芸術表現学科（仮称）」 設置に関する企業アンケート

尚美学園大学では令和8年4月に、芸術情報学部の音楽表現学科・音楽応用学科・舞台表現学科を統合し、パフォーマンス、クリエイト、ビジネスの各領域を実践的かつ論理的に追求して、デジタル社会で必要とされる新世代のエンタテインメントに関する教育研究を行うことを目的とした新学科「芸術表現学科（仮称）」を設置することを構想しております。

この度は当該学科の設置に向けて社会的・地域的なニーズや人材需要等について把握するために、貴社（団体）にアンケート調査をご依頼申し上げる次第です（全7問）。おそれいりますが、下記の期限までにご回答いただけますと幸いです。短い期間でのご依頼にて誠に恐縮ですが、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

ご回答期限：お忙しいところ大変恐縮ですが、**令和7年4月4日（金）23：59**までにご回答いただけますと幸いです。

* 必須の質問です

1。 Q1. 貴社（団体）の所在地をお答えください。 *

⌵ Dropdown

1 つだけマークしてください。

- ☐ 北海道
- ☐ 青森
- ☐ 岩手
- ☐ 宮城
- ☐ 秋田
- ☐ 山形
- ☐ 福島
- ☐ 茨城
- ☐ 栃木
- ☐ 群馬
- ☐ 埼玉
- ☐ 千葉
- ☐ 東京
- ☐ 神奈川
- ☐ 新潟
- ☐ 富山
- ☐ 石川
- ☐ 福井
- ☐ 山梨
- ☐ 長野
- ☐ 岐阜
- ☐ 静岡
- ☐ 愛知
- ☐ 三重
- ☐ 滋賀
- ☐ 京都
- ☐ 大阪
- ☐ 兵庫
- ☐ 奈良
- ☐ 和歌山

- ☐ 鳥取
- ☐ 島根
- ☐ 岡山
- ☐ 広島
- ☐ 山口
- ☐ 徳島
- ☐ 香川
- ☐ 愛媛
- ☐ 高知
- ☐ 福岡
- ☐ 佐賀
- ☐ 長崎
- ☐ 熊本
- ☐ 大分
- ☐ 宮崎
- ☐ 鹿児島
- ☐ 沖縄

2。 Q2. 貴社（団体）の職種をお答えください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 音楽・芸能
- ☐ 楽器・音楽教室
- ☐ 映像・音響・舞台
- ☐ アニメ・CG
- ☐ ゲーム
- ☐ マスコミ・広告
- ☐ 情報・通信
- ☐ 金融
- ☐ メーカー
- ☐ サービス
- ☐ アパレル・ファッション関連
- ☐ レジャー・ホテル
- ☐ 商社・卸売業
- ☐ 小売
- ☐ スポーツ
- ☐ 医療・福祉
- ☐ 冠婚葬祭
- ☐ 公務員・団体・教育機関
- ☐ その他: _____

3。 Q3. 貴社（団体）の規模（従業員数）について教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 50人未満
- ☐ 50～99人
- ☐ 100～499人
- ☐ 500～999人
- ☐ 1,000人以上

4. Q4. 尚美学園大学に「芸術表現学科（仮称）」は必要だと思われますか。＊
最もあてはまるものを1つお答えください。

1 つだけマークしてください。

- ☐ 必要だと思う
- ☐ どちらかと言えば必要だと思う
- ☐ どちらかと言えば必要だと思わない
- ☐ 必要だと思わない

5. Q5. 「芸術表現学科（仮称）」では、以下の能力を身に付けた人材を輩出する ＊
予定です。この人材像に意義があると思われますか。
最もあてはまるものを1つお答えください。

人材像：芸術の学びで鍛錬される直感的理解力を持ち、パフォーマンス、クリエイティブ、ビジネスのフィールドによる芸術の学びと情報教育により、自己マネジメント力と自己配信力を身に付け、エンタテインメント業界をはじめとするこれからの社会に必要とされる新世代の人材

1 つだけマークしてください。

- ☐ 意義があると思う
- ☐ どちらかと言えば意義があると思う
- ☐ どちらかと言えば意義がないと思う
- ☐ 意義がないと思う

6. Q6. 「芸術表現学科（仮称）」が設置された場合、当該学科の卒業生を採用する ＊
ことについてどのようにと思われますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ 採用したい
- ☐ 採用を検討したい
- ☐ 採用したくない

- 7。 Q7.「芸術表現学科（仮称）」について、ご意見やご要望がございましたらお聞かせください。（この設問のご回答は任意です。）

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

	Q2. 貴社（団体）の職種をお答えください。	Q3. 貴社（団体）の規模（従業員数）について教えてください。	Q4. 尚美学園大学に「芸術表現学科（仮称）」は必要だと思われますか。最もあてはまるものを1つお答えください。	Q5. 「芸術表現学科（仮称）」では、以下の能力を身に付けた人材を輩出する予定です。この人材像に意義があると思われますか。最もあてはまるものを1つお答えください。 人材像：芸術の学びで磨かれる直感的理解力を持ち、パフォーマンス、クリエイティブ、ビジネスのフィールドによる芸術の学びと情報教育により、自己マネジメント力と自己発信力を身に付け、エンタテインメント業界をはじめとするこれからの社会に必要とされる新世代の人材	Q6. 「芸術表現学科（仮称）」が設置された場合、当該学科の卒業生を採用することについてどのように思われますか。	Q7. 「芸術表現学科（仮称）」について、ご意見やご要望がございましたらお聞かせください。（この設問のご回答は任意です。）
1	情報・通信	50～99人	どちらかと言えば必要だと思う	意義があると思う	採用したい	
2	ゲーム	1,000人以上	どちらかと言えば必要だと思う	意義があると思う	採用したい	
3	情報・通信	100～499人	どちらかと言えば必要だと思わない	どちらかと言えば意義がないと思う	採用したくない	
4	楽器・音楽教室	1,000人以上	必要だと思う	意義があると思う	採用したい	弊社では専門分野だけでなく広い視野をもって何事にもチャレンジしていく人材を求めています。貴学新学科で学ぶ学生の皆さまの将来が楽しみであると同時に、今まで以上のご縁に大きく期待いたします。
5	楽器・音楽教室	100～499人	必要だと思う	意義があると思う	採用を検討したい	
6	音楽・芸能	1,000人以上	どちらかと言えば必要だと思わない	どちらかと言えば意義があると思う	採用を検討したい	特になし
7	音楽・芸能	50～99人	必要だと思う	意義があると思う	採用したい	今の音楽業界にイノベーションをもたらす若者が輩出される事を願ってやみません。
8	小売	1,000人以上	どちらかと言えば必要だと思う	意義があると思う	採用を検討したい	
9	公共施設管理	50～99人	必要だと思う	意義があると思う	採用したい	
10	楽器・音楽教室	50人未満	どちらかと言えば必要だと思う	どちらかと言えば意義があると思う	採用を検討したい	
11	情報・通信	100～499人	どちらかと言えば必要だと思う	意義があると思う	採用を検討したい	
12	音楽・芸能	100～499人	必要だと思う	意義があると思う	採用を検討したい	
13	楽器・音楽教室	100～499人	必要だと思う	意義があると思う	採用したい	

生まれ変わる芸術表現学科の詳しい情報を知りたい方へ

OPEN CAMPUS 2025

3.30 sun 4.20 sun 5.25 sun
6.8 sun 6.22 sun 7.6 sun
7.23 wed 8.1 fri 8.8 fri
8.22 fri 9.14 sun 12.7 sun

事前申込制 | 伊勢および東京申込方法は
大学ホームページをご覧ください | <https://www.shobi-u.ac.jp/>

尚美学園大学
SHOBI UNIVERSITY

お問い合わせ 入試・広報課
〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1
☎ 0120-80-0082
www.shobi-u.ac.jp/



UNLOCK Learning

資料8
別紙3

尚美学園大学
SHOBI UNIVERSITY

芸術情報学部 芸術表現学科

Department of
Artistic Expression



「音楽」を学ぶ。
「舞台」を学ぶ。
そして、「実社会」も学べる。

Performance

Create

Business

音楽表現学科、
音楽応用学科、舞台表現学科は、
2026年4月に
「芸術表現学科」
として生まれ変わります。

(計画内容は予定で変更が場合があります。)

DEPARTMENT OF ARTISTIC EXPRESSION

芸術のための芸術教育から
社会のあらゆる分野に貢献できる芸術教育へ

Start!

新たに生まれ変わる芸術表現学科は、社会の広範な領域で活躍できる人材の育成と芸術のプロフェッショナルの育成を目指します。芸術の学びで鍛えられる直感的理解力を持ち、「パフォーマンス」「クリエイティブ」「ビジネス」のフィールドによる芸術の学びと情報教育により、自己マネジメント力と自己配能力を身につけ、エンタテインメント業界を始めとするこれからの社会に必要とされる新世代の人材を養成します。

UNLOCK Learning [アンロックラーニング]

芸術表現学科の学びのコンセプトは「UNLOCK Learning / アンロックラーニング」。演奏や舞台表現に代表される「パフォーマンス」、作曲や演出に代表される「クリエイティブ」、そして企画や経営に関する「ビジネス」の、3つの学習領域の科目やゼミナールを各学年で自由に選択し組み合わせることで、芸術表現の世界で活躍するために必要な学修を、一人ひとりの希望や適性によって、基礎から応用にいたるまでバランスよく進めることができます。培われたスキルはあらゆる仕事へ進路の可能性を広げ、未来を拓く鍵を開け放ちます。

パフォーマンス

Performance

クラシック
ポップス
ヴォーカル(ポップス、ミュージカル)
演劇
声優・アニソン
ダンス

クリエイティブ

Create

音楽メディア
作・編曲
ソング・ライティング
脚本

ビジネス

Business

音楽ビジネス エンタテインメントビジネス
マネジメント マーケティング

パフォーマンスはもちろん、幅広い領域から様々なものが学べ、
ビジネスのスキルも得られる。時代が求めた「新しい学び」です。

POINT [芸術表現学科の特長]



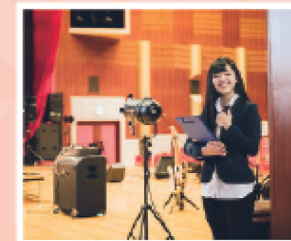
いろいろ学べる

芸術表現学科では、専門性を追求しながら、学びの領域をクロスオーバーした幅広い学習が可能です。パフォーマンスだけでなく、ビジネスに直結したデジタルのスキルも身につきます。



自分のペースで決められる

芸術表現学科には、幅広い学びの領域とカリキュラムがあります。入学してからめくると、自分の好きなこと、将来のやりたい職業、得意なことを見つけることができます。

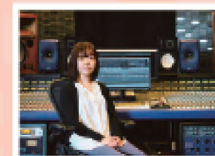


将来の可能性が広がる

芸術表現学科での学びは、様々な仕事でも強みとなり、将来の可能性を広げます。音楽や舞台を学ぶことで得られるコミュニケーション能力などもその一つです。

CAREER [芸術表現学科で目指せる仕事]

▶音楽アーティスト ▶演奏家 ▶指揮者 ▶音楽隊員 ▶ミュージカル俳優 ▶歌手 ▶俳優 ▶声優 ▶アイドル ▶ダンサー
▶パフォーマー ▶テーマパークエンターティナー ▶作詞家・作曲家・編曲家 ▶音楽プロデューサー ▶音楽ディレクター
▶サウンドクリエイター ▶マルチメディアクリエイター ▶サウンドエンジニア ▶マネージャー ▶DJ・トラックメイカー
▶コンサートプロモーター ▶イベントプロデューサー ▶演出家 ▶振付師 ▶脚本家 ▶舞台監督 ▶舞台プロデューサー
▶舞台技術スタッフ ▶アーティストマネージャー ▶企業の企画部門・広報部門 ▶教員 ▶大学院進学 など



KEYWORD [学びのキーワード]

あなたは「なりたい自分」がありますか。次のキーワードから気になるものはありますか。興味関心のある言葉が見つかった方には、芸術表現学科での学びをおススメします。あなたの夢の実現をサポートする、学びと環境がここにあります。

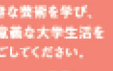
#音楽配信 #DJ #芝居 #バンド #ポップス #劇団 #音楽メディア #企画制作 #フェス #レコードレーベル
#レコーディングスタジオ #アニソン #カラオケ #ミュージシャン #プロ用機材 #エンタメ業界 #DTM #ゲーム音楽
#宅録 #アイドル #レコード #ミュージカル #YouTube #教員・講師 #クリエイター #ダンサー #TikTok
#レコーディングスタジオ #動画配信者 #ライブハウス #音楽で就職 #シンガー・ソングライター #クラシック #ボーカリスト

▶「就職に強い自分」になれる。プロを目指す環境も整っている。

TEACHERS

【調部紹介】

業界での実績も豊富なプロフェッショナルの講師陣から学びを得ることができます。



Makoto
Takeuchi

好きな芸術を学び、
有言義な大学生活を
過ごしてください。

学科長
教授

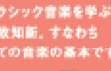
竹内 誠

【担当科目】

「ノ・エ・モノ」「和声技法」「芸術概論」
「芸術鑑賞」「ビジュアル」「卒業研究」

【プロフィール】

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。日本音楽院協
会と日本音楽院の両方に在籍し、作曲科にて大学院
修士と音楽院の両方に在籍し、作曲科にて、音楽院の
作曲科と音楽院の両方、2002年東京音楽大学芸術
情報学部音楽情報学科作曲科に就任予定。



Fumio
Goto

クラシック音楽を学ぶことは
温故知新。すなわち
全ての音楽の基本です。

教授

後藤 文夫

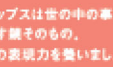
【組織科目】

【吹奏楽】・【管弦楽】・【楽部演習】

【楽器演習】・【教職合宿】

【プロフィール】

30・フォービム専修、吹奏楽部顧問。これまでJシヤタ
ル・8回、ユージオニウム・デュオ・8回、楽団「獅子座」の
主奏として全国公演を完結。毎年春・ユージオニウム・
の大会で、ユージオニウム・デュオ・1回、吹奏楽部
顧問、吹奏楽、音楽部顧問、日本ユージオニウム・
デュオ・協会、専修長。



Daishi Katakawa

ポップスは世の中のこと象徴を映す鏡そのもの。その表現力を磨きましよう。

教授

【経歴簡易】

- 【ソング・ライティング】/アヤノブル
- 【レコーディング監演】/高瀬剛演
- 【芸術表現専修】

【プロフィール】

1993年、DMGビクター音楽エンタテインメントにてミュージック・編集、東京エフエムエディタリング・センター・倉田社よりリリック・CDをリリース。音楽制作・編集、音楽プロデュース作品多数。2019年に東京・音楽シンセサイザー・ライヴ・数作リリース・「シンセサイザー・ライヴ」を主催。

幅広い教養と深い専門性を
身につけ、社会に価値を
生み出せる人になろう。

小林 仁

【担当科目】
「ミュージカル・声楽史」「基礎演習」
「芸術概論」「ゼミナール」「卒業研究」

【プロフィール】
東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。筑波大学大学院修士課程修了。演劇映画を経て東京ミュージカルを中心に活動中。俳優として、その傍、プロデュースとして、東京ミュージカル、タマミュージカルなどで数回演出経験。

最高の教科書は、劇場です。
AI時代にこそ争ごうたい
新しい演劇！

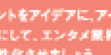
教授 岡村 宏愷

【担当科目】
「芸術表現」「音楽基礎基礎演習Ⅰ(初年)」「
「基礎演習」「ゼミナール」「卒業研究」

【プロフィール】
奥平孝彦、岡田直樹、大塚浩征監督、竹人邦文等人形
演劇、現代演劇と古典註釈の両演劇界のプロとして
活動すると共に、声優アキラ・藤原を3年指導する。
2022年に竹人邦文家の研究で文学研究奨励金・華
夏の奨励を受ける。他文化庁教育学会理事、一般社団
体法人演劇研究協会会員。



Hironobu Okamura



ヒントをアイデアに、アイデアを
形にして、エンタメ業界を
活性化させましょう。

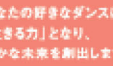
教授 村木 益実

【担当科目】

- 『音楽プロデュース研究』『音楽プロモーション研究』
- 『メディア論』『エンタテインメント企業研究』
- 『ポップカルチャー研究』『音楽企画概論』
- 『ポピュラー音楽史』『総合演習』『卒業研究』

【プロフィール】

1988年、F4 NACK5所属メンバーとしてデビュー。第6回「ベスト傑作」を中心に音楽・エンタテインメント業界で活躍。
所属していたエンタメ総合研究所を自主運営、2010年に4人組バンド「ジュニアムス」を結成するなど、2021年「人生で達成したい100のこと」をテーマに「100」は活動をはじめ。



Fumihito Shimizu

あなたの好きなダンスは「生きる力」となり、
豊かな未来を創出します。

准教授 **清水 典人**

【担当科目】
「舞踊史と舞踊」「舞合芸術概論」「芸術概観」「パフォーマンス・ダンス」「芸術概論専修」「基礎演習」「ゼミナール」「卒業研究」

【プロフィール】
舞踊家、コンテンポラリーダンス。ダンス、舞台、舞台制作と共に、平塚県立大学 Dance Project 講師を務める。東京より来日して以降、全国主要劇場・ホールで舞踊家として、文部科学大臣賞、文芸春秋賞、平成25年度日本舞踊家海外留学制度1年派遣研究員、一般社団法人We・Wind 代表理事。



Takuya
Kanna

好きなことを更に好きになるために、学んだ知識と技術が道をひらきます。

准教授 漢那 拓也

【担当科目】

- 「音響・テラシム」」「芸術概論」
- 「芸術表現専修」「基礎演習」
- 「ゼミナール」「卒業研究」

【プロフィール】

サウンドデザイン専攻、サウンドエンジニア。専門領域は立派な音楽、電子音楽、ライブエレクトロニクス、デジタルサウンド等。4人4人、および2.2.2.2、立派な音楽家、アーティスト「アガサキタ」(タナカ・コウジ)ら等でのアーティスト、パブリシティやテレビ番組制作のテーマ、音楽、音楽制作等。

CURRICULUM

【科目ピックアップ】

3つの学びのフィールドに対応した多彩なカリキュラムの中から、いくつかの科目をご紹介します。



音響リテラシー

学びのフィールド

パフォーマンス

クリエイティブ

ビジネス

音楽制作における音響分野についての基礎知識や技術について学びたい、現場で活躍するために、実習行成での音楽や音楽制作工程の企業就業の場を切り広げた授業です。音楽制作から現場に近きまでの一貫した流れを体験し、それに必要な情報を音楽で伝達できるようにすることを目的とします。

映像リテラシー

パフォーマンス

クリエイト

ビジネス

学びのフィールド

何故メディアにおいて必要不可欠となった映像コンテンツの基礎的な知識を学びます。テレビ番組などのマスメディアから、現代社会において影響力を持つ、SNSやWeb3まで、映像にまつる各層を学習した上で、映像制作における発案や絵コンテを自身で制作する実験を行います。

エンタテインメントビジネス概論



学びのフィールド

- パフォーマンス
- クリエイティブ
- ビジネス

エンタテインメントビジネス全般を修得し、芸術界の幅が広がるビジネスモデルを理解することを目指します。エンタメビジネスにはどのような特徴があり、どのような業種があるか、どのような幅があるのか、そして、それぞれのビジネスモデルはどのようなものがあるかを学びます。

エンタテインメント企画概論



パフォーマンス

クリエイティブ

ビジネス

エンタメビジネスに携わりたい人においては重要な3要素【仕事の考え方の「仕事観」の観点力】【イベントをデザインに表える「ストーリー」の発想力】【企画力】を発揮し、そして【稼働力】を養うことが求められます。当校の授業もまた、企画を中心とし、企画・営業などエンタメ全般を種別単位に習得し上げます。

音楽応用論



ENTERTAINMENT LAW

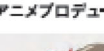
パフォーマンス

クリエイティブ

ビジネス

エンタテインメント業界に留まらず、音楽業界、音楽会社、幅広く社会における音楽の活用事例や、それらを利用する上での必要となる著作権にかかわる法律の基礎に親しんで学びます。そして、現代社会における音楽の権利と責任を創造できる、法的リテラシーの高い人材の養成を目標とします。

アニメプロデュース論



夢見のフィールド	パフォーマンス
	クリエイティブ
	ビジネス

現代のコンテンツビジネスにおいては、グローバル市場でビジネス展開できている、アニメ作品の制作における最も大切な知識を習得します。実際に自らでプロデュースなどを行うことで、アニメ制作に関する知識を深めます。コンテンツビジネスにおける人材育成を目指します。

芸術表現



華ひのフーエード

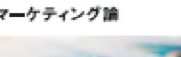
パフォーマンス

クリエイト

ビジネス

パフォーマンス(音楽、ダンス・演劇・演説)による舞台、クリエイト(美術制作とサウンド制作)を、実習を通して習得から学びます。芸術の華ひ以上に自己アピール力も高め、社会人に必要な協調性も身につけ、広い視野を持ち価値観を共有できる人となることを目指します。

マーケティング論



マーケティングの3要素

パフォーマンス

クリエイト

ビジネス

「売れる仕組み」であるマーケティングの理論を体系的に理解し、その意識や消費者の購買行動の仕組みについて学びます。そして、企業活動におけるマーケティングの役割について理解するために、マーケティングの基本的な理論と、消費者の購買行動に関する知識の理解を目的とします。

経営戦略概論



学びのフィールド

パフォーマンス

クリエイティブ

ビジネス

企業経営における戦略とその重要性について学びます。経営戦略について議論の場を創るために、各専攻の知識と経験で、分析ツールの活用、戦略的思考力などを磨きます。経営戦略の立案や評価において、理論や分析ツールを適用できるようにすることを目指します。

アニソン



季節のイベント

パフォーマンス
クリエイティブ
ビジネス

デューシーさんの関連とともにも総合的な発展を遂げた声優分野において重要な位置を占める「アニソンの数珠の串を、グループ総研形式で実用します。歌や体験を通じ、パフォーマンスとしての数珠の串の向上を目指しつつ、「アニメ」「ゲーム」などの最先端サブカルチャー研究を深めます。

芸術表現学科には、ほかにも経験豊富な多くの講師陣が皆さんをお待ちしています。

